

# **NEWS RELEASE**

2025年5月26日 住友生命保険相互会社

# 2024 年度末ヨーロピアン・エンベディッド・バリューの開示

住友生命保険相互会社(取締役 代表執行役社長 高田 幸徳、以下「住友生命」)は、ヨーロピアン・エンベディッド・バリュー(以下「EEV」)原則に基づき計算した住友生命グループ(住友生命、メディケア生命保険株式会社(以下「メディケア生命」)、Symetra Financial Corporation(以下「シメトラ」)および Singapore Life Holdings Pte. Ltd. (以下「シングライフ」))の 2024 年度末のEEVを開示いたします。

なお、2024年度末EEVの計算より、シングライフのEVについて、伝統的手法から、EEV原則に基づく手法へと見直しを行っております。また、2023年度末EEVについても、同様の手法により再評価を行っております。

#### 目次

- 1. はじめに
  - a. EVについて
  - b. EEVについて
  - c. MCEVについて
  - d. 第三者機関によるレビューについての意見書
- 2. 計算結果
  - a. 住友生命グループのEEV
    - (1) EEVの計算結果
    - (2) 修正純資産
    - (3) 保有契約価値
    - (4)新契約価値
  - b. 各社別のEEV
- 3. 前年度末EEVからの変動要因
  - a. 住友生命グループのEEVの変動要因
  - b. 各社別のEEVの変動要因
- 4. 感応度(センシティビティ)
  - a. 住友生命グループのEEV・新契約価値の感応度
  - b. 各社別のEEV・新契約価値の感応度
- 5. 注意事項
- 付録A 計算方法
- 付録B 主な前提条件(住友生命およびメディケア生命)
- 付録CシメトラのEEVの計算方法および主な前提条件
- 付録D シングライフのEEVの計算方法および主な前提条件
- 付録E 第三者意見
- 付録F 用語集

#### 1. はじめに

#### a. EVについて

EVは、計算基準日の修正純資産に、保有契約が将来生み出す収益の現在価値(保有契約価値)を加えることにより計算されます。

現行の法定会計では契約締結時に初期コストを認識し、その後の契約期間を通じて徐々に収益の認識を行います。このような期間損益構造によって、販売業績がよかった場合に、その期間の損益が悪化するといったことが生じます。そのため、会計上の業績から保険会社の実態評価を行うことは必ずしも容易であるとはいえません。一方、EVは過去の収益の実績に加え、保有契約が将来生み出す収益も評価に加えるため、上記のような法定会計で不足する情報を補うことができる一つの指標となり得ます。

また、EVは一般的に、生命保険株式会社における株主価値の一部と理解されておりますが、相互会社においても、会社の財務の健全性や成長性などを表す指標の一つとして重要な役割を果たし、ご契約者の皆さまや、今後ご加入を検討いただける方々、またさまざまなステークホルダーの方々に有益な情報をもたらすものと考えております。

なお、住友生命は相互会社ですが、EVの計算上、社員配当については現在の配当還元水準に基づいた前提を設定し、株式会社と同様に税引後当期剰余は会社に帰属するものとして計算を行っております。また、相互会社では純資産の部に基金を有しておりますが、これは最終的に拠出者に返済されることから、負債として取り扱っております。

#### b. EEVについて

E Vの計算方法、開示内容について一貫性および透明性を高めることを目的に、欧州の大手保険会社のCFO (Chief Financial Officer:最高財務責任者) から構成されるCFOフォーラムは、2004 年 5 月にEE V原則とそれに関するガイダンスを、2005 年 10 月には、感応度と開示に関する追加のガイダンスを制定しております。また、2016 年 5 月には、EUソルベンシー II 等の市場整合的なソルベンシー規制と同様の計算方法および計算前提を用いることを許容する見直しを行っております。これらの原則およびガイダンスに準拠し計算されるEVがEEVです。

現在、国内にはEVの開示に関する基準がなく、欧州のEEV原則に従った開示を行う国内の生命保険会社も見られます。EEV原則に則った開示を行うことで、透明性・比較可能

性などの観点で、利用者にとってより有益な情報開示になるものと考えております。

また、今回のEVの計算にあたっては、EEV原則に準拠したEEVを主に市場整合的手法を用いて計算しております。具体的には、住友生命およびメディケア生命については市場整合的手法を、シメトラおよびシングライフについてはトップダウン手法をそれぞれ用いており、いずれの手法もEEV原則で認められております。市場整合的手法とは、資産・負債のキャッシュ・フローを市場で取引されている金融商品と整合的に評価しようとするものであり、多くの欧州の生命保険会社がEV報告に市場整合的アプローチを採用しております。トップダウン手法とは、会社の事業に関するリスクや資本コスト等を考慮して設定した割引率を用いて評価しようとするものです。

#### c. MCEVについて

CFOフォーラムは 2008 年 6 月に The European Insurance CFO Forum Market Consistent Embedded Value Principles ©1 (以下「MCEV原則」)を制定し、CFOフォーラムのメンバーの会社に 2009 年から市場整合的手法の採用を義務付けることとしました。しかし、その後の金融環境の混乱を踏まえ、同原則について見直しを求める要望が高まり、2009 年 10 月に一部が見直されたMCEV原則が発表されております。また、CFOフォーラムでは、整合性をさらに向上させるための詳細ガイダンスの作成を行うとともに、2016 年 5 月には、EUソルベンシー II 等の市場整合的なソルベンシー規制と同様の計算方法および計算前提を用いることを許容する見直しを行っております。なお、MCEV原則は 2011 年 12 月末からCFOフォーラムのメンバー会社へ強制適用となる見込みでしたが、2011 年 4 月にその表明は取り下げられております。

このような状況を踏まえ、今回計算したEEVは、市場整合的手法を取り入れたものとしておりますが、MCEV原則には準拠しておりません。

#### d. 第三者機関によるレビューについての意見書

EVの評価について専門的な知識を有する第三者機関(アクチュアリー・ファーム)であるウイリス・タワーズワトソンに、EVの計算方法、前提条件の妥当性について検証を依頼し、意見書を受領しております。意見書の詳細については「付録E 第三者意見」をご参照ください。

<sup>&</sup>lt;sup>1</sup> Copyright © Stichting CFO Forum Foundation 2008

#### 2. 計算結果

#### a. 住友生命グループのEEV

#### (1) EEVの計算結果

2024年度末における住友生命グループのEEVは、2023年度末より1198億円増加し、5 兆7848億円となりました。

なお、2024 年度末EEVの計算より、シングライフのEVについて、伝統的手法から、 EEV原則に基づく手法へと見直しを行っております。また、2023 年度末EEVについて も、同様の手法により再評価を行っております。シングライフのEEVの計算方法や計算前 提については、「付録D シングライフのEEVの計算方法および主な前提条件」をご参照 ください。

|     |        |                   |         | ( N⊕y I 1)     |
|-----|--------|-------------------|---------|----------------|
|     |        | 2023年度末<br>(再評価後) | 2024年度末 | 増減             |
| EEV |        | 56,650            | 57,848  | 1,198          |
|     | 修正純資産  | 25,562            | 16,384  | <b>▲</b> 9,177 |
|     | 保有契約価値 | 31,087            | 41,464  | 10,376         |

|       | 2023年度 | 2024年度 | 増減  |
|-------|--------|--------|-----|
| 新契約価値 | 560    | 1,092  | 532 |

- (※1) 住友生命グループのEEVは、住友生命のEEVにメディケア生命、シメトラおよびシングライフのEEVを加え、住友生命が保有するメディケア生命、シメトラおよびシングライフの株式の簿価を控除することにより算出しております。
- (※2) 住友生命が保有するメディケア生命の株式の簿価は、2023年度末および2024年度末時点で1600億円、シメトラの株式の簿価は2023年度末時点で4665億円、2024年度末時点で5669億円、シングライフの株式の簿価は2023年度末時点で4324億円です。
- (※3) 2023 年度末および 2024 年度末のグループEEVには、住友生命グループの連結財務諸表におけるシメトラの 決算基準日である 2023 年 12 月末および 2024 年 12 月末のシメトラのEEVを含めております。また、2023 年 度の住友生命グループの新契約価値には 2023 年 1 月 1 日から 2023 年 12 月 31 日までのシメトラの新契約価値 を、2024 年度の住友生命グループの新契約価値には 2024 年 1 月 1 日から 2024 年 12 月 31 日までのシメトラの 新契約価値を、それぞれ含めております。
- (※4) シングライフの完全子会社化は 2024 年 3 月 18 日付で完了しております。2023 年度末および 2024 年度末のグループEEVには、住友生命グループの連結財務諸表におけるシングライフの決算基準日である 2023 年 12 月末および 2024 年 12 月末のシングライフのEEVを含めております。また、2024 年度の住友生命グループの新契約価値には 2024 年 1 月 1 日から 2024 年 12 月 31 日までのシングライフの新契約価値を含めております。なお、2023 年度の住友生命グループの新契約価値には、シングライフの新契約価値は含めておりません。

## (参考)

住友生命では、契約期間が長期にわたる生命保険契約の負債特性に応じて資産を管理するA LM(資産負債の総合的管理)推進の観点から、長期の公社債や貸付金などの円金利資産を中 心に投資を行っております。

金利が低下した場合、将来見込まれる運用収益が減少することに伴い、保有契約価値は減少 します。一方で、債券価格が上昇し、資産の含み損益が増加することにより、修正純資産は増加し、保有契約価値の減少を補います。

保有契約が将来生み出す収益を把握するにあたっては、保有契約価値に加えて、資産の含み損益を合わせて見る必要があります。

住友生命グループのEEV総額を「純資産の部合計+危険準備金・価格変動準備金等」、「保有契約価値+円金利資産等の含み損益」および「円金利資産等以外の含み損益等」に組み替えて表示すると、次のとおりとなります。

|   |                                | 2023年度末<br>(再評価後) | 2024年度末 | 増減             |
|---|--------------------------------|-------------------|---------|----------------|
| Е | EV                             | 56,650            | 57,848  | 1,198          |
|   | 純資産の部合計<br>+危険準備金・価格変動準備金等(※1) | 13,844            | 14,655  | 810            |
|   | 保有契約価値<br>+円金利資産等の含み損益(※2)     | 25,846            | 27,278  | 1,432          |
|   | 円金利資産等以外の含み損益等(※3)             | 16,959            | 15,914  | <b>▲</b> 1,044 |

- (※1) 住友生命グループの修正純資産のうち、純資産の部合計、危険準備金・価格変動準備金等(税引後)、メディケア生命、シメトラおよびシングライフに対する出資額の相殺、シメトラの繰延税金資産等に係る調整およびシングライフの無形資産等に係る調整の合計額を計上しております。
- (※2) 住友生命グループの保有契約価値と、住友生命およびメディケア生命における円金利資産等の含み損益(税引後)との合計額を計上しております。円金利資産等とは、円貨建保険等に対応する、円貨建公社債・一般貸付、為替ヘッジ付外債等の円貨ベースでの元本回収の確実性が高い資産、および、外貨建保険に対応する、負債と同一通貨建の外貨建公社債等の外貨ベースでの元本回収の確実性が高い資産です。
- (※3) 住友生命グループの修正純資産のうち、住友生命およびメディケア生命における円金利資産等を除いた有価証券等および貸付金・不動産・負債の含み損益(税引後)、退職給付の未積立債務(税引後)の合計額を計上しております。

#### (2) 修正純資産

修正純資産は、計算基準日において対象事業に割り当てられた資産の時価が法定責任準備 金およびその他の負債を超過する額です。

具体的には、貸借対照表の純資産の部の額に、危険準備金・価格変動準備金等(税引後)、 有価証券等・貸付金・不動産・負債の含み損益(税引後)、退職給付の未積立債務(税引後)、 メディケア生命、シメトラおよびシングライフに対する出資額の相殺、シメトラの繰延税金 資産等に係る調整およびシングライフの無形資産等に係る調整を加えたものです。修正純資 産の内訳は次のとおりです。

|                             | 2023年度末<br>(再評価後) | 2024年度末        | 増減              |
|-----------------------------|-------------------|----------------|-----------------|
| 修正純資産(※1)                   | 25,562            | 16,384         | <b>▲</b> 9,177  |
| 純資産の部合計(※2)                 | 12,379            | 13,674         | 1,294           |
| 危険準備金·価格変動準備金等<br>(税引後)(※3) | 13,020            | 13,648         | 627             |
| 有価証券等の含み損益(税引後)             | 9,973             | <b>▲</b> 161   | <b>▲</b> 10,135 |
| 貸付金の含み損益(税引後)               | <b>▲</b> 231      | <b>▲</b> 752   | <b>▲</b> 520    |
| 不動産の含み損益(税引後)               | 1,258             | 1,370          | 112             |
| 負債の含み損益(税引後)(※4)            | 80                | 209            | 128             |
| 退職給付の未積立債務(税引後)(※5)         | 636               | 1,062          | 426             |
| メディケア生命に対する出資額の相殺 (※6)      | <b>▲</b> 1,600    | <b>▲</b> 1,600 | 0               |
| シメトラの繰延税金資産等に係る<br>調整(※7)   | <b>▲</b> 95       | <b>▲</b> 149   | <b>▲</b> 54     |
| シメトラに対する出資額の相殺(※8)          | <b>▲</b> 4,665    | <b>▲</b> 5,669 | <b>▲</b> 1,004  |
| シングライフの無形資産等に係る調整 (※9)      | ▲ 871             | <b>▲</b> 923   | <b>▲</b> 52     |
| シングライフに対する出資額の相殺(※10)       | <b>▲</b> 4,324    | <b>▲</b> 4,324 | 0               |

- (※1) 2024 年度末修正純資産の計算より、シングライフの修正純資産について、伝統的手法から、EEV原則に基づく手法へと見直しを行っております。また、2023 年度末修正純資産についても、同様の手法により再評価を行っております。
- (※2) 基金・その他有価証券評価差額金および社外流出予定額を除いております。
- (※3) 危険準備金・価格変動準備金・配当準備金中の未割当額およびシメトラの価格変動準備金に相当する額を計上 しております。
- (※4) 基金および劣後債務の含み損益を計上しております。
- (※5) 未認識過去勤務費用および未認識数理計算上の差異を計上しております。
- (※6)「純資産の部合計」において、住友生命が保有するメディケア生命の株式価値が簿価で評価されているため、 当該金額を控除しております。
- (※7)シメトラに計上されている繰延税金資産等につき、調整を行うものです。
- (※8)「純資産の部合計」において、住友生命が保有するシメトラの株式価値が簿価で評価されているため、当該金額を控除しております。
- (※9)シングライフに計上されている無形資産等につき、調整を行うものです。
- (※10) 「純資産の部合計」において、住友生命が保有するシングライフの株式価値が簿価で評価されているため、当該金額を控除しております。

#### (3) 保有契約価値

保有契約価値は、将来収益現価からオプションと保証の時間価値、必要資本維持のための 費用およびヘッジ不能リスクのコストを控除した金額であり、その内訳は次のとおりです。

(億円)

|   |                  | 2023年度末<br>(再評価後) | 2024年度末        | 増減           |
|---|------------------|-------------------|----------------|--------------|
| 仔 | 保有契約価値(※1)       | 31,087            | 41,464         | 10,376       |
|   | 将来収益現価(※2)       | 38,892            | 50,206         | 11,313       |
|   | オプションと保証の時間価値    | <b>▲</b> 741      | ▲ 530          | 211          |
|   | 必要資本維持のための費用(※3) | <b>▲</b> 2,805    | <b>▲</b> 3,620 | <b>▲</b> 814 |
|   | ヘッジ不能リスクのコスト     | <b>▲</b> 4,257    | <b>▲</b> 4,591 | ▲ 334        |

- (※1) 2024 年度末保有契約価値の計算より、シングライフの保有契約価値について、伝統的手法から、EEV原則に基づく手法へと見直しを行っております。また、2023 年度末保有契約価値についても、同様の手法により再評価を行っております。
- (※2) 市場整合的手法による確実性等価将来収益現価と、トップダウン手法による将来収益現価を含んでおります。
- (※3) 市場整合的手法による必要資本維持のための費用と、トップダウン手法による資本コストを含んでおります。

#### (4) 新契約価値

新契約価値は、当期に獲得した新契約(転換契約については正味増加分のみ)の契約獲得時点における価値を表したものです。計算前提は2024年度末の保有契約価値と同様としております。ただし、経済前提については契約獲得時の価値を表す時点の前提として、2024年度第1四半期末を適用しております。また、住友生命については、外貨建貯蓄性商品および一時払貯蓄性商品は四半期ごと、それ以外の貯蓄性商品については半期ごとに経済前提をそれぞれ設定しております。

2024年度の新契約価値の内訳は次のとおりです。

|   |                    | 2023年度       | 2024年度       | 増減          |
|---|--------------------|--------------|--------------|-------------|
| 亲 | f契約価値( <u>%</u> 1) | 560          | 1,092        | 532         |
|   | 将来収益現価(※2)         | 1,176        | 2,006        | 830         |
|   | オプションと保証の時間価値      | ▲ 30         | ▲ 30         | 0           |
|   | 必要資本維持のための費用(※3)   | ▲ 319        | <b>▲</b> 600 | ▲ 280       |
|   | ヘッジ不能リスクのコスト       | <b>▲</b> 265 | <b>▲</b> 283 | <b>▲</b> 18 |

- (※1) 2023 年度の住友生命グループの新契約価値には 2023 年 1 月 1 日から 2023 年 12 月 31 日までのシメトラの新契約価値を、2024 年度の住友生命グループの新契約価値には 2024 年 1 月 1 日から 2024 年 12 月 31 日までのシメトラの新契約価値を、それぞれ含めております。
  - シングライフの完全子会社化は 2024 年 3 月 18 日付で完了しております。2024 年度の住友生命グループの新契約価値には 2024 年 1 月 1 日から 2024 年 12 月 31 日までのシングライフの新契約価値を含めております。なお、2023年度の住友生命グループの新契約価値には、シングライフの新契約価値は含めておりません。
- (※2) 市場整合的手法による確実性等価将来収益現価とトップダウン手法による将来収益現価を含んでおります。
- (※3) 市場整合的手法による必要資本維持のための費用とトップダウン手法による資本コストを含んでおります。

また、新契約マージン(新契約価値の収入保険料現価に対する比率)は次のとおりです。

(億円)

|                 | 2023年度 | 2024年度 | 増減      |
|-----------------|--------|--------|---------|
| 新契約価値(a)        | 560    | 1,092  | 532     |
| 収入保険料現価 (b) (※) | 29,556 | 38,093 | 8,536   |
| 新契約マージン (a)÷(b) | 1.9 %  | 2.9 %  | 1.0ポイント |

<sup>(※)</sup> 将来の収入保険料 (シメトラおよびシングライフについては法定会計ベース) を、新契約価値の計算に用いたリスク・フリー・レートまたは割引率で割り引いたものです。

#### (参考)

市場整合的手法による新契約価値は、リスク中立評価を前提としたものであり、資産運用に係る超過収益は市場参加者が運用リスクに対して要求する引当と相殺され、結果としてすべての資産の将来の運用収益がリスク・フリー・レートと等しいものとする前提としております。

一方で、実際の資産運用にあたっては、日本国債に加えて社債、外国債券、株式等への投資を行い、リスク・フリー・レートを超過する利回りを獲得することを期待しております。保険期間の経過に従い、超過収益が獲得された場合には、EVの増加に寄与します。

住友生命グループの新契約価値における将来の運用収益前提のうち、住友生命およびメディケア生命分について、リスク・フリー・レート対比の超過収益を反映して再計算した場合の新契約価値(参考値)は次のとおりです。なお、計算にあたっては、割引率について、運用収益と同じ水準としており、超過収益が実現しないリスクを反映しております。

この値は、住友生命およびメディケア生命のEEVおよび新契約価値算出に使用したリスク中立評価とは異なる基準によるものです。また、EEVの内訳項目としての新契約価値に相当するものでもありません。

|                         | (億円)   |
|-------------------------|--------|
|                         | 2024年度 |
| 超過収益を考慮した 新契約価値(参考値)(※) | 1,380  |

(※) リスク・フリー・レート対比の超過収益率について、住友生命は 0.2%、メディケア生命は 0.0%としております。

# b. 各社別のEEV

# (1) 住友生命

(億円)

|                             | 2023年度末        | 2024年度末        | 増減             |
|-----------------------------|----------------|----------------|----------------|
| EEV(*1)                     | 57,310         | 57,930         | 619            |
| 修正純資産                       | 32,092         | 22,630         | <b>▲</b> 9,462 |
| 純資産の部合計(※2)                 | 8,243          | 8,240          | <b>▲</b> 2     |
| 危険準備金·価格変動準備金等<br>(税引後)(※3) | 12,103         | 12,459         | 355            |
| 有価証券等の含み損益(税引後)             | 10,002         | 40             | <b>▲</b> 9,962 |
| 貸付金の含み損益(税引後)               | <b>▲</b> 231   | <b>▲</b> 752   | <b>▲</b> 520   |
| 不動産の含み損益(税引後)               | 1,258          | 1,370          | 112            |
| 負債の含み損益(税引後)(※4)            | 80             | 209            | 128            |
| 退職給付の未積立債務(税引後)(※5)         | 635            | 1,061          | 426            |
| 保有契約価値                      | 25,217         | 35,300         | 10,082         |
| 確実性等価将来収益現価                 | 31,005         | 41,585         | 10,580         |
| オプションと保証の時間価値               | <b>▲</b> 560   | <b>▲</b> 364   | 196            |
| 必要資本維持のための費用                | <b>▲</b> 1,581 | <b>▲</b> 1,923 | ▲ 342          |
| ヘッジ不能リスクのコスト                | <b>▲</b> 3,645 | <b>▲</b> 3,997 | <b>▲</b> 352   |

| _ |               |              |              | (  ②   1)   |
|---|---------------|--------------|--------------|-------------|
|   |               | 2023年度       | 2024年度       | 増減          |
| 亲 | 所契約価値         | 97           | 258          | 161         |
|   | 確実性等価将来収益現価   | 318          | 505          | 187         |
|   | オプションと保証の時間価値 | <b>4</b> 4   | 0            | 5           |
|   | 必要資本維持のための費用  | <b>▲</b> 63  | <b>▲</b> 72  | <b>4</b> 9  |
|   | ヘッジ不能リスクのコスト  | <b>▲</b> 153 | <b>▲</b> 175 | <b>▲</b> 22 |

- (※1) 住友生命単体のEEVの計算において、保有するメディケア生命、シメトラおよびシングライフの株式は簿価で評価しております。住友生命グループのEEVを計算する際には、グループ内の資本取引を相殺する必要があります。
- (※2) 基金・その他有価証券評価差額金および社外流出予定額を控除しております。
- (※3) 危険準備金・価格変動準備金および配当準備金中の未割当額を計上しております。
- (※4) 基金および劣後債務の含み損益を計上しております。
- (※5) 未認識過去勤務費用および未認識数理計算上の差異を計上しております。

また、新契約マージン(新契約価値の収入保険料現価に対する比率)は次のとおりです。

|                 | 2023年度 | 2024年度 | 増減           |
|-----------------|--------|--------|--------------|
| 新契約価値 (a)       | 97     | 258    | 161          |
| 収入保険料現価 (b) (※) | 13,955 | 13,693 | <b>▲</b> 261 |
| 新契約マージン (a)÷(b) | 0.7 %  | 1.9 %  | 1.2ポイント      |

<sup>(※)</sup> 将来の収入保険料を、新契約価値の計算に用いたリスク・フリー・レートで割り引いたものです。

# (2) メディケア生命

(億円)

|                         |            | 2023年度末      | 2024年度末      | 増減           |
|-------------------------|------------|--------------|--------------|--------------|
| EEV                     |            | 3,722        | 4,042        | 320          |
| 修正純資産                   |            | 335          | 199          | <b>▲</b> 136 |
| 純資産の部合計(※1)             |            | 328          | 348          | 19           |
| 危険準備金·価格変動<br>(税引後)(※2) | 助準備金等      | 34           | 51           | 16           |
| 有価証券等の含み損               | 益(税引後)     | ▲ 29         | <b>▲</b> 201 | <b>▲</b> 172 |
| 貸付金の含み損益(利              | 总引後)       | -            |              | _            |
| 不動産の含み損益(私              | 总引後)       | -            | _            | _            |
| 負債の含み損益(税               | 後)         | -            | _            | _            |
| 退職給付の未積立債               | 務(税引後)(※3) | 0            | 1            | 0            |
| 保有契約価値                  |            | 3,387        | 3,843        | 456          |
| 確実性等価将来収益               | 現価         | 4,017        | 4,459        | 441          |
| オプションと保証の時              | 間価値        | <b>1</b>     | 0            | 1            |
| 必要資本維持のため               | の費用        | <b>▲</b> 17  | <b>▲</b> 22  | <b>4</b>     |
| ヘッジ不能リスクのコン             | <u></u>    | <b>▲</b> 612 | <b>▲</b> 593 | 18           |

(億円)

|       |               |              | ( 忌  1)    |            |
|-------|---------------|--------------|------------|------------|
|       |               | 2023年度       | 2024年度     | 増減         |
| 新契約価値 |               | 288          | 308        | 19         |
|       | 確実性等価将来収益現価   | 402          | 418        | 16         |
|       | オプションと保証の時間価値 | -            | _          | -          |
|       | 必要資本維持のための費用  | <b>▲</b> 2   | <b>▲</b> 2 | <b>A</b> 0 |
|       | ヘッジ不能リスクのコスト  | <b>▲</b> 111 | ▲ 108      | 3          |

- (※1) その他有価証券評価差額金を控除しております。
- (※2) 危険準備金および価格変動準備金の合計額を計上しております。
- (※3) 未認識過去勤務費用および未認識数理計算上の差異を計上しております。

また、新契約マージン(新契約価値の収入保険料現価に対する比率)は次のとおりです。

(億円)

|                 |        |        | 【恨竹丿    |
|-----------------|--------|--------|---------|
|                 | 2023年度 | 2024年度 | 増減      |
| 新契約価値 (a)       | 288    | 308    | 19      |
| 収入保険料現価 (b) (※) | 2,741  | 2,752  | 11      |
| 新契約マージン (a)÷(b) | 10.5 % | 11.2 % | 0.7ポイント |

(※) 将来の収入保険料を、新契約価値の計算に用いたリスク・フリー・レートで割り引いたものです。

#### (3) シメトラ (※1)

(億円)

| (1), |                             |                | (1息円)          |             |
|------|-----------------------------|----------------|----------------|-------------|
|      |                             | 2023年12月末      | 2024年12月末      | 増減          |
| EEV  |                             | 3,612          | 4,750          | 1,137       |
| 1    | 多正純資産                       | 3,195          | 4,635          | 1,440       |
|      | 純資産の部合計(※2)                 | 2,408          | 3,647          | 1,239       |
|      | 危険準備金·価格変動準備金等<br>(税引後)(※3) | 882            | 1,137          | 255         |
|      | 繰延税金資産等に係る調整(※4)            | <b>▲</b> 95    | <b>▲</b> 149   | <b>▲</b> 54 |
| 1    | <b>R</b> 有契約価値              | 417            | 114            | ▲ 302       |
|      | 将来収益現価                      | 1,588          | 1,659          | 70          |
|      | オプションと保証の時間価値               | <b>▲</b> 159   | <b>▲</b> 151   | 8           |
|      | 資本コスト                       | <b>▲</b> 1,011 | <b>▲</b> 1,393 | ▲ 381       |

(億円)

|               | 2023年1月から<br>2023年12月まで | 2024年1月から<br>2024年12月まで | 増減           |
|---------------|-------------------------|-------------------------|--------------|
| 新契約価値         | 174                     | 105                     | <b>▲</b> 68  |
| 将来収益現価        | 455                     | 624                     | 169          |
| オプションと保証の時間価値 | <b>▲</b> 26             | ▲ 28                    | <b>▲</b> 2   |
| 資本コスト         | <b>▲</b> 254            | <b>▲</b> 490            | <b>▲</b> 235 |

- (※1) 2023 年度末および 2024 年度末のグループEEVには、住友生命グループの連結財務諸表におけるシメトラの 決算基準日である 2023 年 12 月末および 2024 年 12 月末のシメトラのEEVを含めております。また、2023 年 度の住友生命グループの新契約価値には 2023 年 1 月 1 日から 2023 年 12 月 31 日までのシメトラの新契約価値 を、2024 年度の住友生命グループの新契約価値には 2024 年 1 月 1 日から 2024 年 12 月 31 日までのシメトラの 新契約価値を、それぞれ含めております。
- (※2) シメトラの米国生命保険子会社の法定会計上の純資産の部に、その他の子会社の純資産および持株会社の純資産を反映する調整を行った額を計上しております。
- (※3) シメトラの価格変動準備金に相当する Asset Valuation Reserve の額を計上しております。
- (※4)シメトラに計上されている繰延税金資産等につき、調整を行うものです。

また、新契約マージン(新契約価値の収入保険料現価に対する比率)は次のとおりです。

(億円)

|                 | 2023年1月から<br>2023年12月まで | 2024年1月から<br>2024年12月まで | 増減          |
|-----------------|-------------------------|-------------------------|-------------|
| 新契約価値 (a)       | 174                     | 105                     | <b>▲</b> 68 |
| 収入保険料現価 (b) (%) | 12,860                  | 16,479                  | 3,619       |
| 新契約マージン (a)÷(b) | 1.4 %                   | 0.6 %                   | ▲0.7ポイント    |

(※) 将来の収入保険料(法定会計ベース)を、新契約価値の計算に用いた割引率で割り引いたものです。

# (参考) 米ドルベース

(百万米ドル)

|     |   |                         | 2023年12月末    | 2024年12月末   | 増減           |
|-----|---|-------------------------|--------------|-------------|--------------|
| EEV |   | 2,547                   | 3,003        | 455         |              |
|     | 修 | ·<br>正純資産               | 2,252        | 2,930       | 677          |
|     |   | 純資産の部合計                 | 1,697        | 2,306       | 608          |
|     |   | 危険準備金·価格変動準備金等<br>(税引後) | 622          | 719         | 97           |
|     |   | 繰延税金資産等に係る調整            | <b>▲</b> 67  | <b>▲</b> 94 | <b>▲</b> 27  |
|     | 侟 | 有契約価値                   | 294          | 72          | <b>▲</b> 221 |
|     |   | 将来収益現価                  | 1,120        | 1,049       | <b>▲</b> 70  |
|     |   | オプションと保証の時間価値           | <b>▲</b> 112 | <b>▲</b> 95 | 16           |
|     |   | 資本コスト                   | <b>▲</b> 713 | ▲ 880       | <b>▲</b> 167 |

## (百万米ドル)

|       |               |                         |                         | (   / + /   / |
|-------|---------------|-------------------------|-------------------------|---------------|
|       |               | 2023年1月から<br>2023年12月まで | 2024年1月から<br>2024年12月まで | 増減            |
| 新契約価値 |               | 123                     | 66                      | <b>▲</b> 56   |
|       | 将来収益現価        | 320                     | 394                     | 73            |
|       | オプションと保証の時間価値 | <b>▲</b> 18             | <b>1</b> 8              | 0             |
|       | 資本コスト         | <b>▲</b> 179            | ▲ 309                   | <b>▲</b> 130  |

## (4) シングライフ (※1)

(億円)

| _   |   |                |                  |              | (1息口)       |
|-----|---|----------------|------------------|--------------|-------------|
|     |   |                | 2023年12月末 (再評価後) | 2024年12月末    | 増減          |
| EEV |   | 7              | 2,593            | 2,718        | 124         |
|     | 修 | <b>E</b> 正純資産  | 528              | 513          | <b>▲</b> 14 |
|     |   | 純資産の部合計(※2)    | 1,399            | 1,436        | 37          |
|     |   | 無形資産等に係る調整(※3) | <b>▲</b> 871     | <b>▲</b> 923 | <b>▲</b> 52 |
|     | 保 | 有契約価値          | 2,065            | 2,205        | 139         |
|     |   | 将来収益現価         | 2,281            | 2,501        | 219         |
|     |   | オプションと保証の時間価値  | <b>▲</b> 20      | <b>▲</b> 14  | 5           |
|     |   | 資本コスト          | <b>▲</b> 195     | ▲ 281        | <b>▲</b> 85 |

(億円)

|   |               | 2024年1月から<br>2024年12月まで |
|---|---------------|-------------------------|
| 新 | 契約価値          | 419                     |
|   | 将来収益現価        | 457                     |
|   | オプションと保証の時間価値 | <b>A</b> 2              |
|   | 資本コスト         | <b>▲</b> 35             |

(※1) シングライフの完全子会社化は 2024 年 3 月 18 日付で完了しております。 2023 年度末および 2024 年度末のグループEEVには、住友生命グループの連結財務諸表におけるシングライフの決算基準日である 2023 年 12 月末および 2024 年 12 月末のシングライフのEEVを含めております。

なお、2024年度末EEVの計算より、シングライフのEVについて、伝統的手法から、EEV原則に基づく手法へと見直しを行っております。また、2023年度末EVについても、同様の手法により再評価を行っております。

2024 年度の住友生命グループの新契約価値には 2024 年 1 月 1 日から 2024 年 12 月 31 日までのシングライフの新契約価値を含めております。なお、2023 年度の住友生命グループの新契約価値には、シングライフの新契約価値を含めておりません。

- (※2) シングライフのシンガポール生命保険子会社の法定会計上の純資産の部に、その他の子会社の純資産および持株会社の純資産を反映する調整を行った額を計上しております。
- (※3) シングライフに計上されている無形資産等につき、調整を行うものです。

また、新契約マージン(新契約価値の収入保険料現価に対する比率)は次のとおりです。

(億円)

|                 | (  空  1)                |
|-----------------|-------------------------|
|                 | 2024年1月から<br>2024年12月まで |
| 新契約価値(a)        | 419                     |
| 収入保険料現価 (b) (※) | 5,166                   |
| 新契約マージン (a)÷(b) | 8.1 %                   |

(※) 将来の収入保険料(法定会計ベース)を、新契約価値の計算に用いた割引率で割り引いたものです。

# (参考) シンガポールドルベース

(百万シンガポールドル)

| _   | (日ガランガポー/21) |               |                     | 100000       |             |
|-----|--------------|---------------|---------------------|--------------|-------------|
|     |              |               | 2023年12月末<br>(再評価後) | 2024年12月末    | 増減          |
| EEV |              | 7             | 2,413               | 2,333        | <b>▲</b> 79 |
|     | 修            | ·<br>正純資産     | 491                 | 440          | <b>▲</b> 50 |
|     |              | 純資産の部合計       | 1,302               | 1,233        | <b>▲</b> 68 |
|     |              | 無形資産等に係る調整    | <b>▲</b> 810        | <b>▲</b> 792 | 18          |
|     | 侟            | 有契約価値         | 1,921               | 1,892        | <b>▲</b> 29 |
|     |              | 将来収益現価        | 2,122               | 2,146        | 24          |
|     |              | オプションと保証の時間価値 | <b>▲</b> 18         | <b>▲</b> 12  | 6           |
|     |              | 資本コスト         | <b>▲</b> 181        | <b>▲</b> 241 | <b>▲</b> 59 |

#### (百万シンガポールドル)

|   | (DA           | 122741 121721           |
|---|---------------|-------------------------|
|   |               | 2024年1月から<br>2024年12月まで |
| 親 | <b>示契約価値</b>  | 360                     |
|   | 将来収益現価        | 392                     |
|   | オプションと保証の時間価値 | <b>1</b>                |
|   | 資本コスト         | <b>▲</b> 30             |

### 3. 前年度末EEVからの変動要因

## a. 住友生命グループのEEVの変動要因

(億円)

|                      | 修正純資産           | 保有契約価値         | EEV            |
|----------------------|-----------------|----------------|----------------|
| 2023年度末EEV           | 25,564          | 30,925         | 56,490         |
| (1)シングライフのEV評価の変更    | <b>▲</b> 2      | 162            | 159            |
| 2023年度末EEV(再評価後)     | 25,562          | 31,087         | 56,650         |
| (2)2023年度末EEVの調整     | 436             | 221            | 658            |
| 2023年度末EEV(調整後)      | 25,998          | 31,309         | 57,308         |
| (3)2024年度新契約価値       | -               | 1,092          | 1,092          |
| (4)期待収益(市場整合的手法)     | 426             | 3,527          | 3,953          |
| うちリスク・フリー・レート分       | 12              | 275            | 288            |
| うち超過収益分              | 413             | 3,251          | 3,665          |
| (5)期待収益(トップダウン手法)    | 29              | 621            | 650            |
| (6)保有契約価値からの移管       | 2,226           | <b>▲</b> 2,226 | _              |
| うち2023年度末保有契約        | 4,070           | <b>▲</b> 4,070 | -              |
| うち2024年度新契約          | <b>▲</b> 1,844  | 1,844          | -              |
| (7)前提条件(非経済前提)と実績の差異 | ▲ 822           | 242            | <b>▲</b> 579   |
| (8)前提条件(非経済前提)の変更    | <b>▲</b> 44     | <b>▲</b> 638   | <b>▲</b> 682   |
| (9)前提条件(経済前提)と実績の差異  | <b>▲</b> 11,457 | 8,088          | <b>▲</b> 3,368 |
| (10) 実効税率変更の影響       | 25              | <b>▲</b> 553   | <b>▲</b> 527   |
| 2024年度末EEV           | 16,384          | 41,464         | 57,848         |

# (1) シングライフのEV評価の変更

シングライフのEVについて、伝統的手法から、EEV原則に基づく手法へと再評価を行ったことに伴う影響です。なお、住友生命、メディケア生命およびシメトラのEEVへの影響はありません。

#### (2) 2023 年度末EEVの調整

シメトラおよびシングライフのEEVを円換算する際に用いる為替レートの変動に伴う 影響を反映しております。

#### (3) 2024 年度新契約価値

2024 年度に獲得した新契約価値を表しております。新契約価値の計算には、防衛特別法人税の創設を反映したことによる実効税率変更の影響を反映しております。

### (4) 期待収益(市場整合的手法)

#### ○リスク・フリー・レート分

市場整合的手法で用いられるリスク・フリー・レートによる割引きの割戻しによる1年間の利息を表しております。この他に、オプションと保証の時間価値、必要資本維持のための費用およびヘッジ不能リスクのコストの解放額を含みます。また、修正純資産に対応する資産を1年間リスク・フリー・レートで運用したときに得られる運用収益を含みます。

#### ○超過収益分

市場整合的手法による計算では、将来の期待収益としてリスク・フリー・レートを用いております。一方、実際は株式などのリスク性資産を保有しており、リスク・フリー・レートを超過する利回りが期待されます。本項目は、その期待超過収益を表します。なお、超過収益を計算するために使用した期待利回りについては、「付録B 主な前提条件(住友生命およびメディケア生命)」をご参照ください。

#### (5) 期待収益(トップダウン手法)

トップダウン手法による保有契約価値の計算にあたっては、将来の期待収益をリスク割引率で割り引いているため、時間の経過とともに割引の影響が解放されます。この他に、資本コストの解放額を含みます。また、修正純資産に対応する資産を1年間期待利回りで運用したときに得られる運用収益を含みます。

#### (6) 保有契約価値からの移管

2024 年度に実現が期待されていた収益の、保有契約価値から修正純資産への移管を表しております。これには、2023 年度末の保有契約から期待される 2024 年度の収益と、2024 年度に獲得した新契約から発生する 2024 年度末までの収益とを含みます。

本項目はEEV内部での移管を表すものであり、EEV自体は増減しません。

#### (7) 前提条件(非経済前提)と実績の差異

2023年度末の保有契約価値の計算に用いていた非経済前提と2024年度の実績が異なることによる影響を表しております。

#### (8) 前提条件(非経済前提)の変更

解約失効率や事業費率などの非経済前提を変更したことによる影響です。

#### (9) 前提条件(経済前提)と実績の差異

2024 年度末の市場金利やインプライド・ボラティリティなどの経済前提が、2023 年度末のEEV計算に用いたものと異なることによる影響を表しております。修正純資産の減少は、主に、国内金利の上昇や国内株価の下落により有価証券の含み損益が減少したことによるも

のです。保有契約価値の増加は、主に、国内金利の上昇によるものです。

# (10) 実効税率変更の影響

防衛特別法人税の創設を反映したことによる影響です。なお、新契約価値の計算に反映した実効税率変更の影響は含んでおりません。税率については、「付録B 主な前提条件(住友生命およびメディケア生命)」をご参照ください。

# b. 各社別のEEVの変動要因

# (1) 住友生命

(億円)

|                   |                 |                | (1息门)          |
|-------------------|-----------------|----------------|----------------|
|                   | 修正純資産           | 保有契約価値         | EEV            |
| 2023年度末EEV        | 32,092          | 25,217         | 57,310         |
| 2024年度新契約価値       | _               | 258            | 258            |
| 期待収益(市場整合的手法)     | 424             | 3,477          | 3,902          |
| うちリスク・フリー・レート分    | 12              | 241            | 254            |
| うち超過収益分           | 412             | 3,236          | 3,648          |
| 保有契約価値からの移管       | 1,339           | <b>▲</b> 1,339 | _              |
| うち2023年度末保有契約     | 3,279           | <b>▲</b> 3,279 | _              |
| うち2024年度新契約       | <b>▲</b> 1,940  | 1,940          | _              |
| 前提条件(非経済前提)と実績の差異 | <b>▲</b> 432    | 664            | 232            |
| 前提条件(非経済前提)の変更    | _               | ▲ 38           | <b>▲</b> 38    |
| 前提条件(経済前提)と実績の差異  | <b>▲</b> 10,817 | 7,571          | <b>▲</b> 3,246 |
| 実効税率変更の影響         | 23              | ▲ 511          | <b>▲</b> 488   |
| 2024年度末EEV        | 22,630          | 35,300         | 57,930         |

# (2) メディケア生命

|                   | 修正純資産        | 保有契約価値       | EEV         |
|-------------------|--------------|--------------|-------------|
| 2023年度末EEV        | 335          | 3,387        | 3,722       |
| 2024年度新契約価値       | _            | 308          | 308         |
| 期待収益(市場整合的手法)     | 1            | 49           | 51          |
| うちリスク・フリー・レート分    | 0            | 34           | 34          |
| うち超過収益分           | 1            | 15           | 17          |
| 保有契約価値からの移管       | 58           | <b>▲</b> 58  | _           |
| うち2023年度末保有契約     | 146          | <b>▲</b> 146 | _           |
| うち2024年度新契約       | <b>▲</b> 87  | 87           | -           |
| 前提条件(非経済前提)と実績の差異 | <b>▲</b> 29  | 103          | 73          |
| 前提条件(非経済前提)の変更    | _            | <b>▲</b> 47  | <b>▲</b> 47 |
| 前提条件(経済前提)と実績の差異  | <b>▲</b> 169 | 142          | <b>▲</b> 27 |
| 実効税率変更の影響         | 2            | <b>▲</b> 41  | <b>▲</b> 38 |
| 2024年度末EEV        | 199          | 3,843        | 4,042       |

# (3) シメトラ

|                           |             |              | (1/5/1 1/    |
|---------------------------|-------------|--------------|--------------|
|                           | 修正純資産       | 保有契約価値       | EEV          |
| 2023年12月末EEV              | 3,195       | 417          | 3,612        |
| 2023年12月末EEVの調整           | 344         | 48           | 393          |
| うち株主配当の支払(※1)             | <b>▲</b> 47 | _            | <b>▲</b> 47  |
| うち為替変動に伴う影響               | 392         | 48           | 440          |
| 2023年12月末EEV(調整後)         | 3,540       | 465          | 4,005        |
| 2024年1月から2024年12月までの新契約価値 | _           | 105          | 105          |
| 期待収益(トップダウン手法)            | ▲ 28        | 483          | 455          |
| 保有契約価値からの移管               | 518         | <b>▲</b> 518 | _            |
| うち2023年12月末保有契約           | 418         | <b>▲</b> 418 | _            |
| うち2024年1月から2024年12月までの新契約 | 100         | <b>▲</b> 100 | -            |
| 前提条件(非経済前提)と実績の差異         | <b>▲</b> 45 | <b>▲</b> 510 | <b>▲</b> 555 |
| 前提条件(非経済前提)の変更            | -           | ▲ 338        | <b>▲</b> 338 |
| 前提条件(経済前提)と実績の差異          | ▲ 353       | 427          | 73           |
| 住友生命からの追加出資(※2)           | 1,004       | _            | 1,004        |
| 2024年12月末EEV              | 4,635       | 114          | 4,750        |

<sup>(※1)</sup> 2024 年 1 月から 2024 年 12 月までの間の、住友生命への株主配当につき、調整を行っております。 (※2) 2024 年 1 月から 2024 年 12 月までの間に、住友生命から 1004 億円の追加出資を受けたことによる影響です。 なお、この出資はグループ内の資本取引であり、グループEEVへの影響はありません。

# (4) シングライフ

|                           | 修正純資産       | 保有契約価値       | (18日)        |
|---------------------------|-------------|--------------|--------------|
|                           | 修正純頁座       | 休有关於個個       | EV           |
| 2023年12月末TEV(※)           | 530         | 1,903        | 2,434        |
| シングライフのEV評価の変更            | <b>▲</b> 2  | 162          | 159          |
| 2023年12月末EEV(再評価後)        | 528         | 2,065        | 2,593        |
| 2023年12月末EEVの調整           | 44          | 173          | 217          |
| 2023年12月末EEV(調整後)         | 572         | 2,239        | 2,811        |
| 2024年1月から2024年12月までの新契約価値 | -           | 419          | 419          |
| 期待収益(トップダウン手法)            | 58          | 137          | 195          |
| 保有契約価値からの移管               | 310         | <b>▲</b> 310 | _            |
| うち2023年12月末保有契約           | 227         | ▲ 227        | -            |
| うち2024年1月から2024年12月までの新契約 | 82          | <b>▲</b> 82  | -            |
| 前提条件(非経済前提)と実績の差異         | ▲ 314       | <b>▲</b> 15  | <b>▲</b> 330 |
| 前提条件(非経済前提)の変更            | <b>▲</b> 44 | <b>▲</b> 213 | <b>▲</b> 257 |
| 前提条件(経済前提)と実績の差異          | <b>▲</b> 68 | <b>▲</b> 52  | <b>▲</b> 121 |
| 2024年12月末EEV              | 513         | 2,205        | 2,718        |

<sup>(※)</sup> 伝統的手法によるエンベディッド・バリューを計上しております。

# 4. 感応度(センシティビティ)

# a. 住友生命グループのEEV・新契約価値の感応度

前提条件を変更した場合のEEV・新契約価値の感応度は次のとおりです。感応度は、一度に一つの前提のみを変化させることとしており、同時に二つの前提を変化させた場合の感応度は、それぞれの感応度の合計とはならないことにご注意ください。

# (1) EEVの感応度

(億円)

| 前提条件                                      | EEV    | 変化額            |
|---|--------|----------------|
| 2024年度末EEV                                | 57,848 |                |
| 感応度1: リスク・フリー・レート 50bp上昇                  | 57,329 | <b>▲</b> 518   |
| 感応度2: リスク・フリー・レート 50bp低下                  | 58,045 | 196            |
| 感応度3: 株式·不動産価値 10%下落                      | 54,152 | <b>▲</b> 3,695 |
| 感応度4: 事業費率(維持費) 10%減少                     | 59,180 | 1,332          |
| 感応度5: 解約失効率 10%減少                         | 59,301 | 1,453          |
| 感応度6: 保険事故発生率(死亡保険) 5%低下                  | 60,717 | 2,868          |
| 感応度7: 保険事故発生率(年金保険) 5%低下                  | 57,802 | <b>▲</b> 46    |
| 感応度8: 必要資本を法定最低水準に変更                      | 59,914 | 2,065          |
| 株式・不動産のインプライド・ボラティリティ<br>  25%上昇          | 57,831 | <b>▲</b> 16    |
| 感応度10: 金利スワップションのインプライド・ボラティ<br>リティ 25%上昇 | 57,529 | <b>▲</b> 319   |

感応度 1 から 8 について、修正純資産の変動額は次のとおりです。また、感応度 9 および 10 については、保有契約価値のみの変動となります。

|       | 前提条件               | 変化額            |
|-------|--------------------|----------------|
| 感応度1: | リスク・フリー・レート 50bp上昇 | <b>▲</b> 8,062 |
| 感応度2: | リスク・フリー・レート 50bp低下 | 8,789          |
| 感応度3: | 株式·不動産価値 10%下落     | <b>▲</b> 3,536 |
| 感応度4: | 事業費率(維持費) 10%減少    | 16             |
| 感応度5: | 解約失効率 10%減少        | <b>▲</b> 55    |
| 感応度6: | 保険事故発生率(死亡保険)5%低下  | 44             |
| 感応度7: | 保険事故発生率(年金保険)5%低下  | <b>A</b> 0     |
| 感応度8: | 必要資本を法定最低水準に変更     | <b>▲</b> 242   |

#### (2) 新契約価値の感応度

(億円)

| 前提条件                                      | 新契約価値 | 変化額          |
|---|-------|--------------|
| 2024年度新契約価値                               | 1,092 |              |
| 感応度1: リスク・フリー・レート 50bp上昇                  | 1,276 | 183          |
| 感応度2: リスク・フリー・レート 50bp低下                  | 873   | <b>▲</b> 218 |
| 感応度3: 株式·不動産価値 10%下落                      | 1,088 | <b>A</b> 3   |
| 感応度4: 事業費率(維持費) 10%減少                     | 1,197 | 104          |
| 感応度5: 解約失効率 10%減少                         | 1,227 | 134          |
| 感応度6: 保険事故発生率(死亡保険) 5%低下                  | 1,277 | 184          |
| 感応度7: 保険事故発生率(年金保険) 5%低下                  | 1,092 | <b>A</b> 0   |
| 感応度8: 必要資本を法定最低水準に変更                      | 1,298 | 205          |
| 株式・不動産のインプライド・ボラティリティ<br>  25%上昇          | 1,092 | 0            |
| 感応度10: 金利スワップションのインプライド・ボラティ<br>リティ 25%上昇 | 1,092 | 0            |

#### ○感応度1

リスク・フリー・レート (フォワード・レート) が 50bp 上昇した場合の影響を表しております。保有債券などの価格変化による修正純資産の変化と、将来の運用収益や割引率の変化による保有契約価値の変化との合計です。

なお、50bp 上昇時の金利の補外にあたっては、終局金利の水準は変動させておりません (感応度 2 も同様)。

また、シメトラの保有契約価値については、将来の再投資分の資産運用利回りと割引率はともにリスク・フリー・レートの水準の影響を受けることを踏まえ、再投資分の資産運用利回りと割引率が50bp変動した場合の感応度としております(感応度2も同様)。シングライフの保有契約価値については、長期期待運用利回りと割引率がともに50bp変動した場合の感応度としております(感応度2も同様)。

#### ○感応度2

リスク・フリー・レート (フォワード・レート) が 50bp 低下した場合の影響を表しております。なお、50bp の低下によりリスク・フリー・レートが負値となる場合は低下後の金利を 0%としております。また、低下前のリスク・フリー・レートが負値である場合は変動させておりません。

#### ○感応度3

株式および不動産の価値が 10%下落した場合の影響を表しております。修正純資産の

変化と、経済前提の変動に伴う保有契約価値の変化とを含みます。

#### ○感応度4

事業費率(契約維持に係るもの)が10%減少した場合の影響を表しております。

# ○感応度5

解約失効率が10%減少した場合の影響を表しております。

## ○感応度6

死亡保険について、保険事故発生率が5%低下した場合の影響を表しております。

#### ○感応度7

年金保険について、保険事故発生率が5%低下した場合の影響を表しております。

#### ○感応度8

必要資本を法定最低水準に変更した場合の影響を表しております。

#### ○感応度9

株式および不動産のインプライド・ボラティリティが 25%上昇した場合の影響を表しております。これによりオプションと保証の時間価値が変化することで、保有契約価値が変化します。なお、本感応度にはシメトラおよびシングライフ分は含めておりません。

#### ○感応度 10

金利スワップションのインプライド・ボラティリティが 25%上昇した場合の影響を表しております。これによりオプションと保証の時間価値が変化することで、保有契約価値が変化します。なお、本感応度にはシメトラおよびシングライフ分は含めておりません。

# b. 各社別のEEV・新契約価値の感応度

# (1) 住友生命

# ア. EEVの感応度

(億円)

|   |        | (1息口)          |
|---|--------|----------------|
| 前提条件                                      | EEV    | 変化額            |
| 2024年度末EEV                                | 57,930 |                |
| 感応度1: リスク・フリー・レート 50bp上昇                  | 57,381 | <b>▲</b> 548   |
| 感応度2: リスク・フリー・レート 50bp低下                  | 58,253 | 323            |
| 感応度3: 株式·不動産価値 10%下落                      | 54,388 | <b>▲</b> 3,542 |
| 感応度4: 事業費率(維持費) 10%減少                     | 58,853 | 923            |
| 感応度5: 解約失効率 10%減少                         | 59,204 | 1,273          |
| 感応度6: 保険事故発生率(死亡保険) 5%低下                  | 60,030 | 2,100          |
| 感応度7: 保険事故発生率(年金保険) 5%低下                  | 57,888 | <b>▲</b> 41    |
| 感応度8: 必要資本を法定最低水準に変更                      | 59,209 | 1,278          |
| 感応度9: 株式・不動産のインプライド・ボラティリティ<br>25%上昇      | 57,913 | <b>▲</b> 16    |
| 感応度10: 金利スワップションのインプライド・ボラティ<br>リティ 25%上昇 | 57,611 | ▲ 318          |

感応度 1 から 3 について、修正純資産の変動額は次のとおりです。また、感応度 4 から 10 については、保有契約価値のみの変動となります。

| 前提条件                     | 変化額            |
|--------------------------|----------------|
| 感応度1: リスク・フリー・レート 50bp上昇 | <b>▲</b> 7,999 |
| 感応度2: リスク・フリー・レート 50bp低下 | 8,743          |
| 感応度3: 株式·不動産価値 10%下落     | <b>▲</b> 3,522 |

# イ. 新契約価値の感応度

| 前提条件                                      | 新契約価値 | 変化額          |
|---|-------|--------------|
| 2024年度新契約価値                               | 258   |              |
| 感応度1: リスク・フリー・レート 50bp上昇                  | 442   | 183          |
| 感応度2: リスク・フリー・レート 50bp低下                  | 66    | <b>▲</b> 192 |
| 感応度3: 株式·不動産価値 10%下落                      | 258   | ı            |
| 感応度4: 事業費率(維持費) 10%減少                     | 296   | 37           |
| 感応度5: 解約失効率 10%減少                         | 340   | 81           |
| 感応度6: 保険事故発生率(死亡保険) 5%低下                  | 354   | 95           |
| 感応度7: 保険事故発生率(年金保険) 5%低下                  | 258   | 0            |
| 感応度8: 必要資本を法定最低水準に変更                      | 306   | 47           |
| 株式・不動産のインプライド・ボラティリティ<br>  8応度9: 25%上昇    | 258   | 0            |
| 感応度10: 金利スワップションのインプライド・ボラティ<br>リティ 25%上昇 | 258   | 0            |

# (2) メディケア生命

# ア. EEVの感応度

(億円)

| 前提条件                                      | EEV   | 変化額         |
|---|-------|-------------|
| 2024年度末EEV                                | 4,042 |             |
| 感応度1: リスク・フリー・レート 50bp上昇                  | 4,035 | <b>A</b> 6  |
| 感応度2: リスク・フリー・レート 50bp低下                  | 4,030 | <b>▲</b> 12 |
| 感応度3: 株式·不動産価値 10%下落                      | 4,042 | ı           |
| 感応度4: 事業費率(維持費) 10%減少                     | 4,137 | 94          |
| 感応度5: 解約失効率 10%減少                         | 4,084 | 41          |
| 感応度6: 保険事故発生率(死亡保険) 5%低下                  | 4,285 | 242         |
| 感応度7: 保険事故発生率(年金保険) 5%低下                  | 4,042 | -           |
| 感応度8: 必要資本を法定最低水準に変更                      | 4,054 | 11          |
| 株式・不動産のインプライド・ボラティリティ<br>  25%上昇          | 4,042 | -           |
| 感応度10: 金利スワップションのインプライド・ボラティ<br>リティ 25%上昇 | 4,042 | <b>A</b> 0  |

感応度 1 および 2 について、修正純資産の変動額は次のとおりです。また、感応度 3 から 10 については、保有契約価値のみの変動となります。

|                          | (1)(1)       |
|--------------------------|--------------|
| 前提条件                     | 変化額          |
| 感応度1: リスク・フリー・レート 50bp上昇 | <b>▲</b> 118 |
| 感応度2: リスク・フリー・レート 50bp低下 | 130          |

# イ. 新契約価値の感応度

| 前提条件                                      | 新契約価値 | 変化額        |
|---|-------|------------|
| 2024年度新契約価値                               | 308   |            |
| 感応度1: リスク・フリー・レート 50bp上昇                  | 311   | 3          |
| 感応度2: リスク・フリー・レート 50bp低下                  | 300   | <b>A</b> 7 |
| 感応度3: 株式·不動産価値 10%下落                      | 308   | ı          |
| 感応度4: 事業費率(維持費) 10%減少                     | 323   | 15         |
| 感応度5: 解約失効率 10%減少                         | 325   | 17         |
| 感応度6: 保険事故発生率(死亡保険) 5%低下                  | 354   | 46         |
| 感応度7: 保険事故発生率(年金保険) 5%低下                  | 308   | ı          |
| 感応度8: 必要資本を法定最低水準に変更                      | 309   | 1          |
| 株式・不動産のインプライド・ボラティリティ<br>  25%上昇          | 308   |            |
| 感応度10: 金利スワップションのインプライド・ボラティ<br>リティ 25%上昇 | 308   | _          |

# (3) シメトラ

# ア. EEVの感応度

(億円)

| 前提条件                     | EEV   | 変化額          |
|--------------------------|-------|--------------|
| 2024年12月末EEV             | 4,750 |              |
| 感応度1: リスク・フリー・レート 50bp上昇 | 4,758 | 8            |
| 感応度2: リスク・フリー・レート 50bp低下 | 4,723 | <b>▲</b> 27  |
| 感応度3: 株式·不動産価値 10%下落     | 4,621 | <b>▲</b> 128 |
| 感応度4: 事業費率(維持費) 10%減少    | 4,980 | 230          |
| 感応度5: 解約失効率 10%減少        | 4,915 | 164          |
| 感応度6: 保険事故発生率(死亡保険) 5%低下 | 4,950 | 200          |
| 感応度7: 保険事故発生率(年金保険) 5%低下 | 4,746 | <b>A</b> 3   |
| 感応度8: 必要資本を法定最低水準に変更     | 5,429 | 679          |
| 感応度9: 株式・不動産利回り1%上昇      | 4,998 | 247          |
| 感応度10: 割引率 50bp上昇        | 4,564 | <b>▲</b> 186 |
| 感応度11: 割引率 50bp低下        | 4,946 | 195          |

感応度 1、2 および 8 について、修正純資産の変動額は次のとおりです。また、感応度 3 から 7 および 9 から 11 については、保有契約価値のみの変動となります。

| 前提条件                     | 変化額          |
|--------------------------|--------------|
| 感応度1: リスク・フリー・レート 50bp上昇 | 47           |
| 感応度2: リスク・フリー・レート 50bp低下 | <b>▲</b> 49  |
| 感応度8: 必要資本を法定最低水準に変更     | <b>▲</b> 242 |

# イ. 新契約価値の感応度

(億円)

| 前提条件                      | 新契約価値 | 変化額         |
|---------------------------|-------|-------------|
| 2024年1月から2024年12月までの新契約価値 | 105   | _           |
| 感応度1: リスク・フリー・レート 50bp上昇  | 89    | <b>▲</b> 16 |
| 感応度2: リスク・フリー・レート 50bp低下  | 108   | 2           |
| 感応度3: 株式·不動産価値 10%下落      | 101   | <b>A</b> 3  |
| 感応度4: 事業費率(維持費) 10%減少     | 146   | 40          |
| 感応度5: 解約失効率 10%減少         | 134   | 29          |
| 感応度6: 保険事故発生率(死亡保険) 5%低下  | 130   | 24          |
| 感応度7: 保険事故発生率(年金保険) 5%低下  | 105   | <b>A</b> 0  |
| 感応度8: 必要資本を法定最低水準に変更      | 248   | 142         |
| 感応度9: 株式・不動産利回り1%上昇       | 142   | 36          |
| 感応度10: 割引率 50bp上昇         | 84    | <b>▲</b> 21 |
| 感応度11: 割引率 50bp低下         | 119   | 13          |

# ○感応度9

株式・不動産利回りが1%上昇した場合の影響を表しております。

# ○感応度 10

トップダウン手法における割引率が50bp上昇した場合の影響を表しております。

# ○感応度 11

トップダウン手法における割引率が 50bp 低下した場合の影響を表しております。

# (4) シングライフ

# ア. EEVの感応度

(億円)

| 前提条件                     | EEV   | 変化額          |
|--------------------------|-------|--------------|
| 2024年12月末EEV             | 2,718 |              |
| 感応度1: リスク・フリー・レート 50bp上昇 | 2,747 | 28           |
| 感応度2: リスク・フリー・レート 50bp低下 | 2,632 | <b>▲</b> 86  |
| 感応度3: 株式·不動産価値 10%下落     | 2,693 | <b>▲</b> 24  |
| 感応度4: 事業費率(維持費) 10%減少    | 2,802 | 84           |
| 感応度5: 解約失効率 10%減少        | 2,692 | <b>▲</b> 26  |
| 感応度6: 保険事故発生率(死亡保険) 5%低下 | 3,044 | 325          |
| 感応度7: 保険事故発生率(年金保険) 5%低下 | 2,717 | <b>A</b> 0   |
| 感応度8: 必要資本を法定最低水準に変更     | 2,814 | 96           |
| 感応度9: 株式・不動産利回り1%上昇      | 2,760 | 41           |
| 感応度10: 割引率 50bp上昇        | 2,543 | <b>▲</b> 175 |
| 感応度11: 割引率 50bp低下        | 2,930 | 211          |

感応度 1 から 7 および 9 について、修正純資産の変動額は次のとおりです。また、感応度 8、10 および 11 については、保有契約価値のみの変動となります。

|       | 前提条件               | 変化額         |
|-------|--------------------|-------------|
| 感応度1: | リスク・フリー・レート 50bp上昇 | 7           |
| 感応度2: | リスク・フリー・レート 50bp低下 | <b>▲</b> 35 |
| 感応度3: | 株式·不動産価値 10%下落     | <b>▲</b> 13 |
| 感応度4: | 事業費率(維持費) 10%減少    | 16          |
| 感応度5: | 解約失効率 10%減少        | <b>▲</b> 55 |
| 感応度6: | 保険事故発生率(死亡保険)5%低下  | 44          |
| 感応度7: | 保険事故発生率(年金保険)5%低下  | <b>A</b> 0  |
| 感応度9: | 株式・不動産利回り1%上昇      | 7           |

# イ. 新契約価値の感応度

| 前提条件                      | 新契約価値 | 変化額         |
|---------------------------|-------|-------------|
| 2024年1月から2024年12月までの新契約価値 | 419   | _           |
| 感応度1: リスク・フリー・レート 50bp上昇  | 432   | 12          |
| 感応度2: リスク・フリー・レート 50bp低下  | 397   | <b>▲</b> 21 |
| 感応度3: 株式·不動産価値 10%下落      | 419   | I           |
| 感応度4: 事業費率(維持費) 10%減少     | 431   | 11          |
| 感応度5: 解約失効率 10%減少         | 426   | 6           |
| 感応度6: 保険事故発生率(死亡保険) 5%低下  | 438   | 18          |
| 感応度7: 保険事故発生率(年金保険) 5%低下  | 419   | ı           |
| 感応度8: 必要資本を法定最低水準に変更      | 433   | 13          |
| 感応度9: 株式・不動産利回り1%上昇       | 439   | 19          |
| 感応度10: 割引率 50bp上昇         | 388   | <b>▲</b> 31 |
| 感応度11: 割引率 50bp低下         | 459   | 39          |

# 5. 注意事項

ここに記載されている内容については、リスクと不確実性を伴う将来の見通しを含んだ前 提条件に基づき計算したものであり、将来の実績がこれらの前提条件と大きく異なる場合が ありますので、ご使用にあたっては十分な注意を払っていただく必要があります。

### 付録A 計算方法

住友生命グループの 2024 年度末の生命保険事業のEEVを計算するために用いた計算方法 および計算前提は、EEV原則およびそのガイダンスに準拠しております。

住友生命は相互会社ですが、社員配当については現在の配当還元水準に基づいた前提を設定し、株式会社と同様に税引後当期剰余は会社に帰属するものとして計算を行っております。また、相互会社では純資産の部に基金を有しておりますが、これは最終的に拠出者に返済されることから、負債として取り扱っております。

#### 1. 対象事業

住友生命グループにおいて計算基準日時点で行われている生命保険事業を計算の対象と しております。

住友生命の子会社・関連会社に関しては、次のとおりとしております。

#### ○メディケア生命

EEVの計算を行い、住友生命グループの修正純資産および保有契約価値にそれぞれ その価値を含んでおります。

#### ○シメトラ

EEVの計算を行い、住友生命グループの修正純資産および保有契約価値にそれぞれ その価値を含んでおります。計算方法や計算前提については、「付録C シメトラの EEVの計算方法および主な前提条件」に記載しております。

#### ○シングライフ

EEVの計算を行い、住友生命グループの修正純資産および保有契約価値にそれぞれ その価値を含んでおります。計算方法や計算前提については、「付録D シングライ フのEEVの計算方法および主な前提条件」に記載しております。

#### ○その他の子会社・関連会社

EVの計算を行わず、株式の時価評価を行った上で、含み損益を加えております。

#### 2. 修正純資産の計算方法(住友生命およびメディケア生命)

修正純資産は、計算基準日において対象事業に割り当てられた資産の時価が法定責任準備 金およびその他の負債を超過する額であり、貸借対照表の純資産の部の額に次の調整を行い 計算しております。なお、修正純資産は必要資本とフリー・サープラスから構成されており ます。

- ○剰余金処分として社外流出が予定されている金額を控除し、これに負債の部のうち修正 純資産の一部として加えることが適当と考えられるもの(危険準備金、価格変動準備金、 配当準備金中の未割当額)を税引後に換算した上で加えます。
- ○修正純資産は時価ベースで評価するため、貸借対照表では時価評価されていない資産・ 負債についても原則的に時価評価を行い、これらの含み損益を税引後に換算した上で加 えます。時価評価を行う資産・負債としては満期保有目的の債券、責任準備金対応債券、 貸付金などが挙げられます。

#### 3. 保有契約価値の計算方法(住友生命およびメディケア生命)

保有契約価値は、確実性等価将来収益現価からオプションと保証の時間価値、必要資本維持のための費用およびヘッジ不能リスクのコストを控除することにより計算します。

#### a. 確実性等価将来収益現価

確実性等価将来収益現価は、将来キャッシュ・フローを決定論的手法により計算したものであり、すべての資産の運用利回り前提をリスク・フリー・レートとし、将来収益をリスク・フリー・レートで割り引いた現在価値です。

確実性等価将来収益現価では、社員配当などのオプションと保証の本源的価値も含んでおりますが、オプションと保証の時間価値は含んでおらず、別途計算します。

#### b. オプションと保証の時間価値

市場整合的手法では、市場で取引されているオプション価格と整合的な前提に基づく確率 論的手法を用いて、オプションと保証の価値を計算します。オプションと保証の時間価値は、 このように計算したオプションと保証の価値から、確実性等価将来収益現価に含まれるオプションと保証の本源的価値を控除することにより計算します。なお、資産構成は計算基準日時点のものが将来にわたり維持されると想定しており、将来の運用方針やその他経営方針の変更については織り込んでおりません。

EEVの計算にあたり重要なオプションや保証として考慮したものは、次のとおりです。

#### ○有配当契約の動的配当

有配当契約については、剰余が発生する場合、社員配当として還元されますが、損失が発生する場合、契約者に保険料を超える追加の負担は求められません。

## ○変額商品の最低保証

最低保証を行っている変額商品について、積立金が最低保証を上回る場合、上回る部分はすべて契約者に帰属する一方で、積立金が最低保証を下回る場合、その不足額を保険会社が負担することになります。

○予定利率変動型商品の予定利率最低保証

予定利率の最低保証をしている予定利率変動型商品について、将来の金利上昇時には 市場に連動した水準の予定利率が付与されますが、金利低下時の予定利率には下限があ ります。

# ○動的解約

契約者には自由に解約する権利が付与されております。ここでは、経済前提に応じて 契約者の解約行動が変わることを想定しております。

### c. ヘッジ不能リスクのコスト

確実性等価将来収益現価やオプションと保証の時間価値では考慮していない、次のリスク要素を、ヘッジ不能リスクのコストとしてEVに反映しております。

#### ○オペレーショナルリスク

内部管理上のミスやシステム障害・災害などにより、損失が生じるリスクです。

○繰越欠損金の回収不能リスク

税務上の欠損金は繰越処理され、翌期以降の収益と相殺することで税効果を享受できます。確実性等価将来収益現価やオプションと保証の時間価値は、すべての税効果を享受する前提で計算しておりますが、繰越期間が限られていることから、将来の収益状況によっては繰越欠損に伴う税効果をすべて享受できないリスクが存在します。

○十分な取引のない市場に対するリスク

計算に用いるリスク・フリー・レートのうち、年限の長いもの(ここでは30年超としております。)には十分な取引のある市場が存在しないことにより、価値の不確実性が存在します。

○非経済前提の不確実性に対するリスク

確実性等価将来収益現価やオプションと保証の時間価値の計算に用いる非経済前提 は、ベスト・エスティメイト前提として設定しておりますが、将来の不確実性が存在し ます。

これらのリスク要素の反映においては、資本コスト法を用いており、保険引受リスク等の 経済要因以外の不確実性に対応するリスク量に、資本コスト率を乗じて計算しております。 なお、リスク量の計測は内部モデルに基づいております。計算対象としたリスク量は経済要 因を除外しているため、上記の「十分な取引のない市場に対するリスク」に対応する資本は 含まれていませんが、資本コスト法により計算された結果の合計額が、十分な取引のない市 場に対するリスクを含めた上記のリスク要素をカバーする水準であることを確認しており ます。

資本コスト率については、欧州の主要保険会社のCRO (Chief Risk Officer) で構成されるCROフォーラムが提言する  $2.5\% \sim 4.5\%$ 水準を参考にし、2.5%と設定しております。

#### d. 必要資本維持のための費用

保険会社は健全性維持のために負債の額を超えて必要資本を保有する必要があります。この必要資本に対応する資産の運用収益に対する税金と、必要資本に対応する資産を運用するための費用とを、必要資本維持のための費用としております。

必要資本の水準について、EEV原則では法令で定められた水準を上回ることが求められており、必要資本維持のための費用の計算にあたり、住友生命およびメディケア生命では必要資本をソルベンシー・マージン比率 400%を維持するために必要な水準としております。これにより計算された必要資本の金額は、2023年度末において2兆7615億円、2024年度末において2兆7694億円となっております。これらの数値にはシメトラおよびシングライフ分を含んでおります。

なお、日本のソルベンシー・マージン基準では、全期チルメル式責任準備金相当額超過額 をマージンに反映することが規定されており、本計算においてもこれを反映しております。 今後、経済価値ベースのソルベンシー評価の動向などを踏まえ、必要資本の定義について 見直しを検討していく予定です。

### 4. 新契約価値の計算方法(住友生命およびメディケア生命)

2024年度の新契約価値は、2024年度に獲得した新契約の獲得時点における価値を、保有契約価値と同様の方法により計算しております。ただし、経済前提については契約獲得時の価値を表す時点の前提として、2024年度第1四半期末を適用しております。また、住友生命については、外貨建貯蓄性商品および一時払貯蓄性商品は四半期ごと、それ以外の貯蓄性商品については半期ごとに経済前提をそれぞれ設定しております。

計算対象は、新契約(将来の更新を含む)および転換契約(正味増加分のみ)としております。既契約の更新および特約の中途付加は含んでおりません。ただし、新契約は受再保険を含み、企業保険に関してはシェア・アップを含んでおります。

# 付録 B 主な前提条件(住友生命およびメディケア生命)

### 1. 経済前提

#### a. リスク・フリー・レート

確実性等価将来収益現価の計算および金利モデルのキャリブレーションにおいては、各国のマーケットの状況を考慮し、リスク・フリー・レートとして国債利回りを使用しております。

また、一般に保険契約は市場の金融商品よりも長期に及ぶため、評価を行うにあたっては、市場で観測できない超長期の年限の金利を設定する必要があります。超長期のリスク・フリー・レートについては、国債市場における流動性が十分にないことから、国債利回りの補外を行っております。

補外にあたっては、終局金利を用いた方法としております。終局金利を用いた補外とは、市場で観測できない超長期年限の金利について、マクロ経済的に超長期に実現されると考えられる金利水準である終局金利を設定し、一定の年数の間に収束させる方法であり、保険監督者国際機構 ( IAIS) による国際的な資本基準 ( ICS) において採用されております。また、EUのソルベンシーII において既に採用されている他、MCE V原則においても使用が認められております。

当社では、ICS Version 2.0 等を参考に、通貨別に終局金利、補外開始年度および収束年度を次のとおり設定し、Smith-Wilson 法を用いて補外を行っております。

|        | 日本円金利   |         | 米ドル     | 金利      | 豪ドル金利   |         |  |
|--------|---------|---------|---------|---------|---------|---------|--|
|        | 2023年度末 | 2024年度末 | 2023年度末 | 2024年度末 | 2023年度末 | 2024年度末 |  |
| 終局金利   | 3.8%    | 3.8%    | 3.8%    | 3.8%    | 3.8%    | 3.8%    |  |
| 補外開始年度 | 30年     | 30年     | 30年     | 30年     | 30年     | 30年     |  |
| 収束年度   | 60年     | 60年     | 60年     | 60年     | 60年     | 60年     |  |

使用したリスク・フリー・レート(スポット・レート換算)は次のとおりです。

| 廿日日 | 日本円金利<br>期間 <b>日本円金利</b> |         | 米ドル     | 金利      | 豪ドル金利   |         |  |
|-----|--------------------------|---------|---------|---------|---------|---------|--|
| 別則  | 2023年度末                  | 2024年度末 | 2023年度末 | 2024年度末 | 2023年度末 | 2024年度末 |  |
| 1年  | 0.054%                   | 0.641%  | 5.081%  | 4.081%  | 3.962%  | 3.762%  |  |
| 2年  | 0.189%                   | 0.857%  | 4.622%  | 3.879%  | 3.705%  | 3.661%  |  |
| 3年  | 0.202%                   | 0.893%  | 4.396%  | 3.869%  | 3.590%  | 3.674%  |  |
| 4年  | 0.277%                   | 1.023%  | 4.282%  | 3.913%  | 3.588%  | 3.745%  |  |
| 5年  | 0.358%                   | 1.114%  | 4.222%  | 3.971%  | 3.651%  | 3.867%  |  |
| 10年 | 0.758%                   | 1.521%  | 4.188%  | 4.262%  | 4.023%  | 4.472%  |  |
| 15年 | 1.167%                   | 1.957%  | 4.280%  | 4.544%  | 4.261%  | 4.792%  |  |
| 20年 | 1.561%                   | 2.322%  | 4.584%  | 4.809%  | 4.454%  | 5.065%  |  |
| 25年 | 1.696%                   | 2.413%  | 4.537%  | 4.868%  | 4.486%  | 5.223%  |  |
| 30年 | 1.929%                   | 2.688%  | 4.285%  | 4.604%  | 4.433%  | 5.147%  |  |
| 35年 | 2.130%                   | 2.897%  | 4.118%  | 4.400%  | 4.373%  | 5.023%  |  |
| 40年 | 2.310%                   | 3.033%  | 4.040%  | 4.289%  | 4.317%  | 4.900%  |  |
| 45年 | 2.462%                   | 3.128%  | 3.997%  | 4.220%  | 4.267%  | 4.790%  |  |
| 50年 | 2.590%                   | 3.200%  | 3.971%  | 4.171%  | 4.224%  | 4.696%  |  |

(データ:日本円金利は財務省 補正後、その他はBloomberg 補正後)

# b. 主な動的前提

# (1) 金利モデル

金利モデルとして、日本円、米ドル、ユーロ、英ポンド、豪ドルを通貨とする各金利に対する確率論的  $\alpha$   $\beta$   $\rho$  -LIBOR マーケットモデルを構築しました。各金利変動の相関を考慮するとともに、日本円を基準通貨とするリスク中立アプローチに基づきモデルを調整しております。金利モデルは、各基準日時点の市場にキャリブレートされており、パラメータはイールド・カーブと期間の異なる複数の金利スワップションのインプライド・ボラティリティから推計しております。オプションと保証の時間価値を計算するための確率論的手法では5000 シナリオを使用しております。これらのシナリオはウイリス・タワーズワトソンにより生成されたものを使用しております。

シナリオのキャリブレーションに使用した金利スワップションのインプライド・ボラティリティ(抜粋)は次のとおりです。

### 金利スワップション

(bp)

|             |            |      | 2023年度末 |      |          |         |      | 2024年度末 |      |          |         |  |
|-------------|------------|------|---------|------|----------|---------|------|---------|------|----------|---------|--|
| オプション<br>期間 | スワップ<br>期間 | 日本円  | 米<br>ドル | ユーロ  | 英<br>ポンド | 豪<br>ドル | 日本円  | 米<br>ドル | ユーロ  | 英<br>ポンド | 豪<br>ドル |  |
| 5年          | 10年        | 41.9 | 90.5    | 81.7 | 92.3     | 81.2    | 45.7 | 92.8    | 76.4 | 95.3     | 80.3    |  |
| 7年          | 10年        | 41.3 | 85.8    | 77.9 | 86.7     | 75.0    | 45.2 | 89.8    | 74.3 | 93.3     | 76.4    |  |
| 10年         | 10年        | 41.2 | 78.5    | 72.2 | 81.1     | 68.3    | 44.6 | 84.5    | 71.9 | 90.5     | 72.8    |  |
| 15年         | 10年        | 40.3 | 68.7    | 64.2 | 76.5     | _       | 44.3 | 76.8    | 66.8 | 86.0     | -       |  |
| 20年         | 10年        | 38.3 | 61.4    | 58.7 | 73.2     | _       | 43.9 | 70.0    | 62.7 | 82.0     | -       |  |

(データ:Bloomberg 補正後)

# (2) 株式・通貨のインプライド・ボラティリティ

主要な株式のインデックスおよび通貨のボラティリティについては、市場で取引されているオプションのインプライド・ボラティリティのデータに基づいてキャリブレーションを行っております。シナリオのキャリブレーションに使用したインプライド・ボラティリティ(抜粋)は次のとおりです。

# 株式オプション

|      |                 | オプション | ボラテ     | イリティ    |
|------|-----------------|-------|---------|---------|
| 通貨   | 原資産             | 期間    | 2023年度末 | 2024年度末 |
|      |                 | 3年    | 19.4%   | 20.1%   |
| 日本円  | 日経225           | 4年    | 19.5%   | 20.0%   |
|      |                 | 5年    | 19.6%   | 20.0%   |
|      | 米ドル S&P 500     | 3年    | 18.3%   | 18.9%   |
| 米ドル  |                 | 4年    | 19.1%   | 19.6%   |
|      |                 | 5年    | 19.9%   | 20.2%   |
|      | - F             | 3年    | 16.2%   | 16.9%   |
| ユーロ  | Euro<br>Stoxx50 | 4年    | 16.3%   | 17.0%   |
|      | Stoxxou         |       | 16.5%   | 17.1%   |
|      |                 |       | 13.9%   | 13.8%   |
| 英ポンド | FTSE 100        | 4年    | 14.3%   | 14.1%   |
|      |                 | 5年    | 14.8%   | 14.4%   |

(データ: Markit 補正後)

# 通貨オプション

| ) Z (K | オプション | ボラテ     | ボラティリティ |  |  |
|--------|-------|---------|---------|--|--|
| 通貨     | 期間    | 2023年度末 | 2024年度末 |  |  |
| 米ドル    | 5年    | 7.9%    | 8.8%    |  |  |
| ユーロ    | 5年    | 9.3%    | 10.8%   |  |  |
| 英ポンド   | 5年    | 10.2%   | 10.9%   |  |  |
| 豪ドル    | 5年    | 11.0%   | 11.3%   |  |  |

(データ:Bloomberg)

# (3) 相関係数

前述のインプライド・ボラティリティに加え、相関係数を基に各社の資産構成を反映させたインプライド・ボラティリティを計算しております。資産構成比は将来にわたって横ばいとしております。

相関係数については、十分な流動性を有するエキゾチック・オプションに基づく市場整合的なデータが存在しません。そのため、2015年3月末から2025年3月末までの市場データから計算した値を使用しております。

主要な変数間の相関係数は次のとおりです。

|                     | 日本円<br>金利<br>1年 | 米ドル<br>金利<br>1年 | ユーロ<br>金利<br>1年 | 英ポンド<br>金利<br>1年 | 豪ドル<br>金利<br>1年 | 米ドル<br>/円 | ユーロ<br>/円 | 英ポンド<br>/円 | 豪ドル<br>/円 | NIKKEI<br>225 | S&P<br>500 | Euro<br>Stoxx<br>50 | FTSE<br>100 |
|---------------------|-----------------|-----------------|-----------------|------------------|-----------------|-----------|-----------|------------|-----------|---------------|------------|---------------------|-------------|
| 日本円<br>金利<br>1年     | 1.00            | 0.48            | 0.59            | 0.41             | 0.51            | 0.27      | 0.27      | 0.25       | 0.20      | 0.06          | ▲ 0.16     | ▲ 0.07              | 0.00        |
| 米ドル<br>金利<br>1年     | 0.48            | 1.00            | 0.76            | 0.74             | 0.78            | 0.66      | 0.47      | 0.44       | 0.42      | 0.22          | ▲ 0.13     | ▲ 0.01              | 0.02        |
| ユーロ<br>金利<br>1年     | 0.59            | 0.76            | 1.00            | 0.78             | 0.72            | 0.42      | 0.53      | 0.33       | 0.33      | 0.06          | ▲ 0.28     | ▲ 0.13              | ▲ 0.08      |
| 英ポンド<br>金利<br>1年    | 0.41            | 0.74            | 0.78            | 1.00             | 0.68            | 0.46      | 0.40      | 0.33       | 0.24      | 0.09          | ▲ 0.27     | ▲ 0.14              | ▲ 0.19      |
| 豪ドル<br>金利<br>1年     | 0.51            | 0.78            | 0.72            | 0.68             | 1.00            | 0.51      | 0.47      | 0.37       | 0.54      | 0.10          | ▲ 0.15     | ▲ 0.10              | ▲ 0.01      |
| 米ドル<br>/円           | 0.27            | 0.66            | 0.42            | 0.46             | 0.51            | 1.00      | 0.69      | 0.68       | 0.52      | 0.37          | ▲ 0.08     | 0.06                | ▲ 0.05      |
| ユーロ<br>/円           | 0.27            | 0.47            | 0.53            | 0.40             | 0.47            | 0.69      | 1.00      | 0.82       | 0.69      | 0.45          | 0.13       | 0.19                | 0.05        |
| 英ポンド<br>/円          | 0.25            | 0.44            | 0.33            | 0.33             | 0.37            | 0.68      | 0.82      | 1.00       | 0.66      | 0.58          | 0.33       | 0.40                | 0.10        |
| 豪ドル<br>/円           | 0.20            | 0.42            | 0.33            | 0.24             | 0.54            | 0.52      | 0.69      | 0.66       | 1.00      | 0.61          | 0.48       | 0.44                | 0.39        |
| NIKKEI<br>225       | 0.06            | 0.22            | 0.06            | 0.09             | 0.10            | 0.37      | 0.45      | 0.58       | 0.61      | 1.00          | 0.71       | 0.71                | 0.51        |
| S&P<br>500          | ▲ 0.16          | ▲ 0.13          | ▲ 0.28          | ▲ 0.27           | ▲ 0.15          | ▲ 0.08    | 0.13      | 0.33       | 0.48      | 0.71          | 1.00       | 0.79                | 0.65        |
| Euro<br>Stoxx<br>50 | ▲ 0.07          | ▲ 0.01          | ▲ 0.13          | ▲ 0.14           | ▲ 0.10          | 0.06      | 0.19      | 0.40       | 0.44      | 0.71          | 0.79       | 1.00                | 0.78        |
| FTSE<br>100         | 0.00            | 0.02            | ▲ 0.08          | ▲ 0.19           | ▲ 0.01          | ▲ 0.05    | 0.05      | 0.10       | 0.39      | 0.51          | 0.65       | 0.78                | 1.00        |

(データ:日本円金利は財務省、その他はBloomberg)

# c. 期待収益計算上の期待収益率

住友生命およびメディケア生命について、「3.前年度末EEVからの変動要因」の期待収益の計算に使用した期待収益率(リスク・フリー・レート分と超過収益分の合計)は、資産別に次のとおりであり、前年度末の資産構成に基づき、住友生命は1.8%(年率)、メディケア生命は0.7%(年率)としております。

|                   | 期待収益率 |
|-------------------|-------|
| 確定利付資産(超長期債を除く)   | 0.7%  |
| 超長期債              | 1.5%  |
| 外国債券(為替ヘッジ付外債を除く) | 3.0%  |
| 為替ヘッジ付外債          | 1.2%  |
| 国内株式              | 4.3%  |
| 外国株式              | 5.5%  |
| その他               | 2.1%  |

超長期債:償還期間が10年超の債券

#### 2. 非経済前提

保険料、事業費、保険金・給付金、解約返戻金、税金などのキャッシュ・フローは、保険 種類別に、直近までの経験値および期待される将来の実績を勘案したベスト・エスティメイ ト前提で予測しております。

# ○事業費率

- ・住友生命およびメディケア生命の直近の事業費実績等に基づき設定しており、ルック・ スルー調整を行っております。
- ・将来のインフレ率は、次のとおり設定しております。

30年目まで: 物価連動国債に織り込まれたブレーク・イーブン・インフレ率を参考に 1.13%としました。

31年目以降: 60年目に2.00% (リスク・フリー・レートの終局水準に織り込まれたインフレ率) に収束するよう徐々に変動させました。

### ○社員配当

• 住友生命

現在の配当還元水準をベースとして配当率の前提を定め、市場整合的なリスク中立シナリオに連動して設定しております。

メディケア生命

無配当商品のみの販売であることから、配当率の前提は設定しておりません。

# ○実効税率

防衛特別法人税の創設を反映し、予測年度に応じて次の税率を用いております。

· 住友生命

2025 年度以前27.96%2026 年度以降28.88%

メディケア生命

2025 年度以前28.00%2026 年度以降28.93%

# 付録CシメトラのEEVの計算方法および主な前提条件

# 1. 修正純資産の計算方法

### a. 純資産の部合計

純資産の部合計は、次の3項目から構成されております。

# (1) 米国生命保険子会社の純資産

シメトラの米国生命保険子会社 (Symetra Life Insurance Company) について、法定会計上の純資産の額を含めております。

## (2) その他の子会社の純資産

シメトラのその他の子会社について、米国会計基準に基づく純資産の額(ただし、 Symetra Bermuda Re は英領バミューダの資本規制の枠組みに基づく純資産の額)を含めております。

#### (3) 持株会社の純資産

持株会社(シメトラ)について、米国会計基準に基づく純資産の額を含めております。

# b. 危険準備金·価格変動準備金等

負債の部のうち、修正純資産の一部として加えることが適当と考えられるものを税引後に換算した上で加えております。シメトラの価格変動準備金に相当する Asset Valuation Reserve (AVR) について、米国の法定会計上は負債の部に計上されておりますが、EVの計算では修正純資産に加えております。

#### c. 繰延税金資産等に係る調整

法定会計上の貸借対照表に計上されている繰延税金資産を控除しております。また、法 定会計上の貸借対照表には計上されていないが実態として一定の価値があると認められ るものを加える等の調整を行っております。

#### 2. 保有契約価値の計算方法

保有契約価値は、将来収益現価からオプションと保証の時間価値および資本コストを控除 することにより計算しております。

将来収益現価は、保有契約から生じる法定会計上の税引後利益(ただし、Symetra Bermuda Re は英領バミューダの資本規制の枠組みに基づく税引後利益)を決定論的に見積もり、適切に設定したリスク割引率によって割り引くことにより計算しております。資産運用収益については、2024年12月31日時点の経済環境と、現在および将来において想定される資産配分比率に基づいて計算しております。

オプションと保証の時間価値は、動的解約と付与利率の非対称オプションを反映しております。

資本コストは、必要資本の額に対して割引率と運用利回り(資産運用費用控除後・税引後)の差から生じる利息差の金額です。シメトラでは、RBC規制における比率の目標水準を経営計画において375%としており、必要資本の額はこれを維持するために必要な水準(ただし、Symetra Bermuda Re は英領バミューダの資本規制における比率の経営計画上の目標水準である165%を維持するために必要な水準)としております。

#### 3. 新契約価値の計算方法

シメトラの新契約価値は、2024年1月1日から2024年12月31日までに獲得した新契約の獲得時点における価値を、保有契約価値と同様の方法により計算しております。計算にあたっては、上半期(2024年1月から6月)および下半期(2024年7月から12月)の新契約について、契約獲得時点の経済前提および非経済前提として、各期末時点のものをそれぞれ用いております。なお、新契約の保険料現価の計算において、米国会計基準上では、投資性商品の一部の保険料は除かれますが、本開示上では、法定会計ベースを採用し、すべての保険料を含んでおります。

### 4. 経済前提および割引率

#### a. 経済前提

トップダウン手法における資産運用収益は、計算基準日時点の経済環境と現在および将来において想定される資産配分比率に基づいて設定しております。

主要な経済前提には、国債利回り、信用スプレッド、デフォルトコストおよび資産運用費用があります。国債利回りと信用スプレッドは、計算基準日時点の水準を踏まえて設定しております。

保有資産の運用利回りは次のとおりです。

|    | 運用利回り     |           |  |  |
|----|-----------|-----------|--|--|
|    | 2023年12月末 | 2024年12月末 |  |  |
| 社債 | 3.96%     | 4.27%     |  |  |
| 合計 | 4.71%     | 4.64%     |  |  |

(※) 法定会計ベースであり、デフォルトコストおよび投資経費反映前を表示しております。

再投資利回りは、商品特性に従って設定したグループごとに現在および将来想定する再投 資戦略に基づき設定しております。

商品グループごとの再投資利回りは次のとおりです。

| 商品グループ   | 再投資利回り(※3、4) |            |  |  |  |
|----------|--------------|------------|--|--|--|
|          | 2023年12月末    | 2024年12月末  |  |  |  |
| 個人保険     | 5.43-6.37%   | 5.76-6.18% |  |  |  |
| 個人年金(※1) | 5.45-5.60%   | 5.14-5.68% |  |  |  |
| 団体保険     | 5.38%        | 5.40%      |  |  |  |
| 変額年金(※2) | 7.50%        | 7.50%      |  |  |  |

- (※1)変額年金を除く。
- (※2)分離勘定分。 (※3)デフォルトコストおよび投資経費反映前を表示しております。
- (※4) 商品別に設定しております。

デフォルトコストは、保有資産および再投資資産について、過去の実績を踏まえ資産種類、 格付け等に応じて設定しております。

デフォルトコストは次のとおりです。

|        | デフォルトコスト(bp) |           |  |  |  |
|--------|--------------|-----------|--|--|--|
|        | 2023年12月末    | 2024年12月末 |  |  |  |
| 保有資産   |              |           |  |  |  |
| AAA-A格 | 4            | 5         |  |  |  |
| BBB格   | 17           | 14        |  |  |  |
| 再投資資産  |              |           |  |  |  |
| AAA-A格 | 0-12         | 2-12      |  |  |  |
| BBB格   | 9-21         | 7-21      |  |  |  |

# b. 割引率

割引率は、加重平均資本コスト法(WACC)に基づき、株主資本コストと負債調達コストを考慮して設定しております。

割引率は次のとおりです。

|                | 保有契約      |           |  |  |  |
|----------------|-----------|-----------|--|--|--|
|                | 2023年12月末 | 2024年12月末 |  |  |  |
| 割引率            | 7.75%     | 8.25%     |  |  |  |
| リスク・フリー・レート(※) | 3.88%     | 4.58%     |  |  |  |
| リスク・マージン       | 3.87%     | 3.67%     |  |  |  |

|                | 新契約                    |                         |                        |                         |  |  |  |  |
|----------------|------------------------|-------------------------|------------------------|-------------------------|--|--|--|--|
|                | 2023年1月から<br>2023年6月まで | 2023年7月から<br>2023年12月まで | 2024年1月から<br>2024年6月まで | 2024年7月から<br>2024年12月まで |  |  |  |  |
| 割引率            | 7.75%                  | 7.75%                   | 8.00%                  | 8.25%                   |  |  |  |  |
| リスク・フリー・レート(※) | 3.81%                  | 3.88%                   | 4.36%                  | 4.58%                   |  |  |  |  |
| リスク・マージン       | 3.94%                  | 3.87%                   | 3.64%                  | 3.67%                   |  |  |  |  |

(※) 米 10 年国債利回り

### 5. 非経済前提

保険料、事業費、保険金・給付金、解約返戻金、税金等のキャッシュ・フローは、契約消滅までの期間にわたり、保険種類別に、直近までの経験値および期待される将来の実績を勘案したベース(ベスト・エスティメイト前提)で予測しております。利率変動型商品における将来の付与利率は、現在の水準および将来の経済前提を踏まえ設定しております。また、経済前提に応じて契約者の解約行動が変わることが想定される契約については、動的前提を設定しております。

将来のインフレ率は、消費者物価指数を参考に設定しております(個人保険・個人年金は 2.50%)。

法人税率は、21.00%としております。

# 6. 為替レート

シメトラのEEVは、現地通貨で計算した上で、日本円に換算しております。換算に用いた為替レートは次のとおりです。

|     | 2023年12月末 | 2024年12月末 |
|-----|-----------|-----------|
| 米ドル | 141.83円   | 158.18円   |

# 付録D シングライフのEEVの計算方法および主な前提条件

# 1. 修正純資産の計算方法

### a. 純資産の部合計

純資産の部合計は、次の3項目から構成されております。

## (1) シンガポール生命保険子会社の純資産

シングライフのシンガポール生命保険子会社 (Singapore Life Ltd.) について、法 定会計上の純資産の額を含めております。

## (2) その他の子会社の純資産

シングライフのその他の子会社について、国際財務報告基準に基づく純資産の額を含めております。

## (3) 持株会社の純資産

持株会社(シングライフ)について、国際財務報告基準に基づく純資産の額を含めて おります。

### b. 無形資産等に係る調整

上記 a. 純資産の部合計に反映されている無形資産の控除等を行っております。

# 2. 保有契約価値の計算方法

保有契約価値は、将来収益現価からオプションと保証の時間価値および資本コストを控除 することにより計算しております。

将来収益現価は、保有契約から生じる法定会計上の税引後利益を決定論的に見積もり、適切に設定したリスク割引率によって割り引くことにより計算しております。資産運用収益については、計算基準日時点における将来の運用成果に対する期待値を設定しております。

オプションと保証の時間価値は、配当の非対称オプションを反映しております。

資本コストは、必要資本の額に対して割引率と運用利回りの差から生じる利息差の金額です。シングライフでは、RBC2規制における比率の目標水準を経営計画において175%としており、必要資本の額はこれを維持するために必要な水準としております。

# 3. 新契約価値の計算方法

シングライフの新契約価値は、2024年1月1日から2024年12月31日までに獲得した新契約の獲得時点における価値を、保有契約価値と同様の方法により計算しております。

### 4. 経済前提および割引率

## a. 経済前提

トップダウン手法における資産運用収益は、計算基準日時点の将来の運用成果に対する期待値に基づいて設定しております。

主要な経済前提には、長期期待運用利回りおよび資産運用費用があります。

長期期待運用利回りは次のとおりであり、将来にわたり一定としております。

|           | 2023年12月末<br>(再評価後) | 2024年12月末   |
|-----------|---------------------|-------------|
| 長期期待運用利回り | 4.20%-6.42%         | 4.20%-6.26% |

(※) 法定会計ベースであり、投資経費反映前を表示しております。デフォルトコストは反映されております。

### b. 割引率

割引率は、リスク・フリー・レートにリスク・マージンを上乗せして設定しております。 リスク・マージンには、市場リスクおよびヘッジ不能非金融リスクを反映しております。 割引率は次のとおりです。

|                | 2023年12月末<br>(再評価後) | 2024年12月末 |
|----------------|---------------------|-----------|
| 割引率            | 6.05%               | 6.30%     |
| リスク・フリー・レート(※) | 2.75%               | 3.00%     |
| リスク・マージン       | 3.30%               | 3.30%     |

(※) シンガポール 10 年国債の期待利回り

### 5. 非経済前提

保険料、事業費、保険金・給付金、解約返戻金、税金等のキャッシュ・フローは、契約消滅までの期間にわたり、保険種類別に、直近までの経験値および期待される将来の実績を勘案したベース(ベスト・エスティメイト前提)で予測しております。配当は、現在の配当実務に基づき設定しております。

将来のインフレ率は、消費者物価指数および賃金インフレ率を参考に、2.3%としており

# ます。

法人税率は、17.00%としております。

# 6. 為替レート

シングライフのEEVは、現地通貨で計算した上で、日本円に換算しております。換算に用いた為替レートは次のとおりです。

|          | 2023年12月末<br>(再評価後) | 2024年12月末 |
|----------|---------------------|-----------|
| シンガポールドル | 107.48円             | 116.51円   |

# 付録E第三者意見

ウイリス・タワーズワトソンは、住友生命グループの 2025 年 3 月 31 日現在のエンベディッド・バリューを計算するにあたって適用された計算方法および計算前提の検証を行いました。ただし、ウイリス・タワーズワトソンは、計算結果についての検証は行っておりません。また、本開示資料の「2. 計算結果 a. 住友生命グループのEEV (4) 新契約価値」において参考として記載される部分については、計算方法、計算前提、計算結果のいずれも検証を行っておりません。

住友生命は相互会社ですが、エンベディッド・バリューの計算にあたっては、現在の配当実 務に基づき、株式会社の場合と同様の基準で価値を評価しています。

ウイリス・タワーズワトソンは、使用された計算方法および計算前提が、この文書に記載されている開示内容とともに、EEV原則およびガイダンスに準拠したものであると結論付けました。特に、

- 適用された計算方法は以下のとおり、対象事業におけるリスク全体を反映させるものです。
  - ・ シメトラおよびシングライフの事業を除く住友生命グループについては、本開示資料 の付録Aに記述される住友生命のボトムアップ手法(これには、オプションと保証の 時間価値の確率論的評価および、必要資本維持のための費用とヘッジ不能リスクのコ ストの影響の認識が含まれています。)によります。
  - ・ シメトラおよびシングライフの事業については、本開示資料の付録Cおよび付録Dに 記述される住友生命のトップダウン手法(保有契約価値の決定において、税引後法定 利益のベストエスティメイト前提による決定論的プロジェクションに適用される割引 率にリスクマージンを含め、当該事業に係る必要資本の資本コストを控除すること) によります。なお、住友生命グループの計算結果、特にシメトラおよびシングライフ の事業は各キャッシュフローについて市場で取引されている類似の金融商品と整合的 にリスク評価を行う方法(いわゆる市場整合的手法)とは大きくかい離する可能性が あります。
- 事業前提は過去現在の実績および将来期待される経験を適切に反映して設定されています。
- 適用された経済前提は、前提相互間で整合的であり、また、観察可能な市場データとも整合的です。

● 有配当契約については、社員配当の前提および社員と会社の間の利益分配は、予測前提、 確立された会社の実務および対象となる国の市場における実務と整合的です。

住友生命グループのEEVは連結財務諸表の基準に合わせてシメトラおよびシングライフの計算を行っていることにご注意ください。新契約価値は、2024年1月1日から 2024年12月31日の間にシメトラおよびシングライフが獲得した契約の価値を含みますが、この期間は連結財務諸表におけるシメトラおよびシングライフの取り扱いに対応するものです。同様に、シメトラおよびシングライフの変動要因分析は同期間における変動を計算しています。

これらの結論に至るにあたり、ウイリス・タワーズワトソンは住友生命グループから提供されたデータおよび情報に依拠しています。

この意見は住友生命との契約に基づき、住友生命のみに対して提供されるものです。適用される法律において許容される限り、ウイリス・タワーズワトソンは、ウイリス・タワーズワトソンが行った検証作業やウイリス・タワーズワトソンが作成した意見および意見に含まれる記述内容について、住友生命以外のいかなる第三者に対しても、一切責任、注意義務あるいは債務を負いません。

以上

付録F 用語集

| 门跳1 川阳来      |   |
|--------------|---|
| CFO          | 欧州主要保険会社のCFO(Chief Financial Officer:最高財務責任   |
| フォーラム        | 者)により構成される組織で、財務報告の発展や投資家に対する透明性              |
|              | の向上などに関する議論を行うため、2002年に設立されました。               |
| EEV原則        | 感応度および開示に関する改善を図ることを主な目的として、CFOフ              |
|              | ォーラムにより 2004 年 5 月に発表された E V 計算の原則で、2005 年 10 |
|              | 月には開示に関する追加のガイダンスが発表されております。また、               |
|              | 2016 年 5 月には、EUソルベンシーⅡ等の市場整合的なソルベンシー          |
|              | 規制と同様の計算方法および計算前提を用いることを許容する見直し               |
|              | が行われております。                                    |
| EU           | 欧州で 2016 年 1 月から導入された経済価値ベースのソルベンシー規制         |
| ソルベンシーⅡ      | です。   |
| I C S        | 保険監督者国際機構(IAIS)において策定され、国際的に活動する              |
|              | 保険グループ(IAIG)に適用される資本要件です。                     |
| MCEV原則       | EVの価値評価を市場と整合的に行うことや会社間の比較可能性を改               |
|              | 善することを主な目的として、CFOフォーラムにより 2008 年 6 月に         |
|              | 発表されたEV計算の原則です。                               |
|              | 同原則は 2009 年 10 月に、主に流動性プレミアムに関する見直しが、         |
|              | また、2016 年 5 月には、EUソルベンシーⅡ等の市場整合的なソルベ          |
|              | ンシー規制と同様の計算方法および計算前提を用いることを許容する               |
|              | 見直しが行われております。                                 |
| Smith-Wilson | すべての年限の金利を一つの算式で表わし、市場で観測される部分は観              |
| 法            | 測値に一致し、最終的に終局金利に収束するようなイールド・カーブを              |
|              | 作成する補外方法です。ソルベンシーⅡ規制においても採用されており              |
|              | ます。   |
| インプライド・      | 現在のオプションの市場価格から逆算される将来の予測変動率のこと               |
| ボラティリティ      | で、価格変動に対する市場の期待値を表します。                        |
| オプションと       | オプションと保証の価値は、本源的価値と時間価値の合計です。                 |
| 保証の価値        | 本源的価値とは、一般的にはオプションの行使価格と実際の価格との差              |
|              | 額を指し、市場整合的手法の場合、確実性等価シナリオの下で評価され              |
|              | るオプションと保証のコストがこれにあたります。                       |
|              | 時間価値は、市場整合的手法の場合、一組の市場整合的なリスク中立経              |
|              | 済シナリオの下で確率論的手法により計算された契約価値と、確実性等              |
|              | 価シナリオの下で計算された契約価値との差となります。                    |
|              |   |

| 確実性等価       | 確実性等価将来収益現価は、市場整合的手法において、対象事業から生   |
|-------------|--|
| 将来収益現価      | じる将来のキャッシュ・フローから得られる収益の現在価値で、運用利   |
| /将来収益現価     | 回り前提および割引率はリスク・フリー・レートを用いたものです。  |
| / 机水纸盒光画    |  |
|             | 村木収益状価は、ドラファウン子伝におりる村木収益の先任価値で、建  <br>  用利回り前提には投資リスク・プレミアムを含み、割引率はリスク割引 |
|             | 内利回り前旋には投資リスク・プレミアムを占み、割引率はリスク割引   |
| 76 - +: = \ |  |
| 確率論的手法      | ある確率分布に基づいて、将来起き得る結果について考えられる範囲に   |
|             | わたって考慮する手法です。オプションと保証の時間価値の計算におい   |
|             | ては、特定の確率分布に基づいて一組のシナリオが生成され、シナリオ   |
|             | ごとに将来予測を行っております。   |
| キャリブレー      | 確率論的手法に用いるモデルの各種パラメータを、金融商品の価格から   |
| ション         | 設定することです。  |
| 決定論的手法      | 将来予測を行う際に、その予測シナリオとしてあらかじめ作成した(決   |
|             | 定された) 単一のシナリオを用いる手法です。   |
| 市場整合的手法     | 資産・負債の将来のキャッシュ・フローを、市場で取引される資産の価   |
|             | 格と整合的に評価する計算手法です。  |
| 資本コスト法      | ヘッジ不能リスクのコストの計算方法の一つで、将来におけるリスク対   |
|             | 応資本を維持するための費用の現在価値を取ることによって、ヘッジ不   |
|             | 能リスクのコストを計算します。  |
| 終局金利        | マクロ経済的に超長期に実現されると考えられる金利水準です。一般  |
|             | に、期待実質金利と期待インフレ率の和として設定されます。   |
| 修正純資産       | 計算基準日における純資産価値を表す尺度であり、保有している資産・   |
|             | 負債を時価評価し純資産を計算した上で、負債のうち危険準備金、価格   |
|             | 変動準備金等を加える調整などを行い計算されます。   |
|             |  |
| 新契約価値       | 当年度の新契約から将来生じる収益の現在価値です。   |
|             |  |
| スワップション     | 権利行使日に一定条件の金利スワップ取引を行うことができる権利を  |
|             | 売買するオプション取引です。   |
| 動的前提        | 経済前提などのシナリオに連動して変動するような前提を指します。例   |
|             | │<br>│ として、運用成果に応じた社員配当の還元や、市場金利と予定利率との │                                |
|             | 乖離に応じた解約失効率の前提などがあげられます。   |
| トップダウン      | 会社の事業に関するリスクや資本コスト等を考慮して設定した割引率  |
| 手法          | を用いて評価する計算手法です。  |
| 必要資本        | 対象事業に係る負債に対応する資産を超えて会社が保有することが求  |
| ,           | められる資本です。  |
|             | - ^ - ^ -  |

| 2 6 世界22 一七月世人ルイソン・2 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ |
|--|
| 上めの費用は、市場整合的手法において、必要資本に対                                |
| ]収益に対する税金と、必要資本に対応する資産を運用                                |
| 、フリクショナル・コストとも呼ばれます。                                     |
| ップダウン手法の場合において、必要資本の額に対し                                 |
| 回りの差から生じる利息差の金額です。                                       |
| <ul><li>、生命保険事業を行うために必要な金額(必要資本)</li></ul>               |
| 0  |
| 記および期待される将来の実績を勘案して、将来実現さ                                |
| る前提をいいます。  |
| Q益現価やオプションと保証の時間価値では考慮して                                 |
| とで、オペレーショナルリスク、繰越欠損金の回収不                                 |
| 取引のない市場に対するリスク、非経済前提の不確実                                 |
| を含んでおります。  |
| そ生じる収益を、計算基準日における現在価値に換算し                                |
|  |
| スクに対して追加的なリターンを要求しないという仮                                 |
|  |
| リスクがない証券における将来の期待利回りです。                                  |
|  |
| ☆社・関連会社と対象事業に関する取引をしている場                                 |
| りグループ内の会社に発生する損益(実績・将来)を                                 |
| きえ方です。   |
|  |